ワイズギア スパンカー

20〜27ft用・小スパンカー／折り畳みブーム
27〜33ft用・中スパンカー／折り畳みブーム

取付・取扱説明書

このたびは、ワイズギア スパンカーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
この製品は、20 〜 27 フィートおよび 27 〜 33 フィートのフィッシング艇用に開発された巻取式のスパンカーです。流し釣りの際にご利用ください。

- ●製品の取り付け・操作を行う前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、充分に内容を理解してください。
- ●この取扱説明書は大切に保管し、何時でも見られるようにしておいてください。
- ●船型により、小スパンカー（20〜27ft）・中スパンカー（27〜33ft）の適合する船の大きさが変わる場合があります。

目　次

安全上のご注意 2
商品の特長・スパンカー効果・艇のコントロール 3
スタンダードタイプ
各部の名称と付属品の確認 5
取付前の確認 6
取付方法 7
展開方法 12
セイルとブームの調整 14
収納方法 15
パーツリスト 16
折り畳みタイプ
各部の名称と付属品の確認 18
取付前の確認 19
取付方法 20
展開方法 25
セイルとブームの調整 27
収納方法 28
パーツリスト 29
定期点検 32
スパンカーによる船の流し方 33
オプション 38
保証書 ..... 巻末

発売元　株式会社ワイズギア

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また、安全にご使用いただくために、次のような内容で使い分けてあります。

⚠警告

- 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷および傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。

注　意

- 取り扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示しています。

要　点

- この表示は正しい操作の仕方や点検整備上のポイントを示しています。

いずれも安全に関する項目ですので、必ず守ってください。

⚠警告

- 下記3項目を厳守しないと、艇体の取付部およびスパンカーの破損による人体的損傷のおそれがあります。
  1. 出航前には、マストを支えているサイドステーロープと船首側のフォアステーロープを黒い8の字クリートでしっかり張ってください。(9ページ【4】-(2)(3)、22ページ【5】-(2)(3)参照)
  2. 停泊中に強風の発生するおそれが予想される時には、スパンカーを取り外し、デッキにロープ等でしっかり固定してください。
  3. セイルを収納後や停泊中は、セイルエンドロープで必ず結んで、風でセイルが再び展開しないようにしてください。
- 風速が8.0m/sを超える(水面に波頭が立つ)場合は、セイルを収納してください。横風を受けた場合等はボートが風にあおられ、転覆するおそれがあります。
- セイルの展開時および収納時には、各ロープをしっかりと張ってください。ロープが緩んでいると、ブームの回転やブームとマストの破断によりケガをするおそれがあります。
- 別売の可倒式ヒンジベースを取り付けた場合についても、起倒後はブームとマストの固定をしないと、破損してマストが、乗船者に当たりケガをするおそれがあります。
- 幼児・子供に操作させないでください。また、同乗者に操作させる場合は、船長の責任下にて行ってください。

注　意

- セイルに後方や横から風を受けると過大な力がかかり、スパンカーが破損するおそれがありますので、風は前方より受ける様にしてください。
- セイルを展開したまま旋回をしないでください。セイルの受ける風向が変わる時に過大な力が発生し、スパンカーが破損するおそれがあります。
- 折り畳みブームの場合、停泊中はブームとマストをロープで固定してください。ブームとセイルが破損する可能性があります。
- 取り付けには、専門の技術が必要です。取り付けはお買い上げの販売店に依頼してください。
- スパンカーの高さより低い橋脚の下を通る場合は、別売の可倒式ヒンジベースを取り付けてください。
- ロープの摩耗を定期的に点検し、外皮がめくれてきたら交換してください。
- 32ページに記載の定期点検の項目を必ず実施してください。

商品の特長・スパンカー効果・艇のコントロール

商品の特長

1） ドラムロープ1本を引っ張るだけで、セイルの収納・展開が簡単にできます。

2） ロープと8の字クリート、テンショナーの採用により部品点数が軽減され、組み立てが容易になりました。

3） マストのサイドステーを張っていてもマストが回転しやすいよう、マスト上・下部にベアリングを装備しています。

4） マストのフォアステーおよびサイドステーロープは、高強度で低伸度のカラフルなダイニーマロープを使用しています。

5） マストステップ下部には、海水排出孔を設け、防蝕対策をしています。

6） マストステップとマストの干渉部には、傷付き防止のため50mm幅のシーリング材を貼って保護しています。

7） マストのフォアステーおよびサイドステーロープには、より確実な固定ができる8の字クリートを採用しました。

8） マストとブームのアイストラップ固定リベットは、シリコンを使用して防蝕対策を施しています。

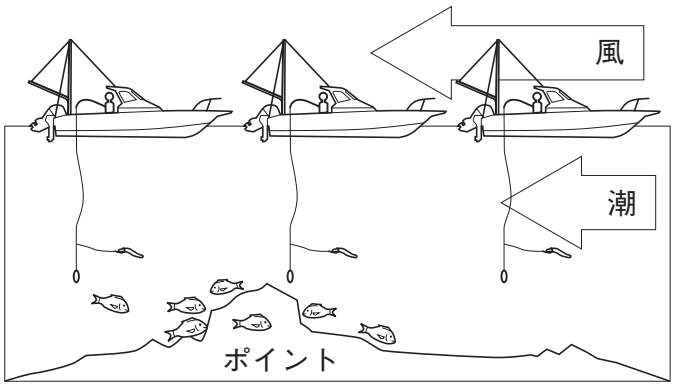
9） 折り畳みブーム使用の場合は、離岸・着岸時にブームの収納が出来、邪魔になりません。また、保管時の占有面積が縮小されます。

10）可倒式ブラケット（オプション）の固定ピンは、脱着操作を簡単にするため、スナップピンでリング止め方式を採用しました。

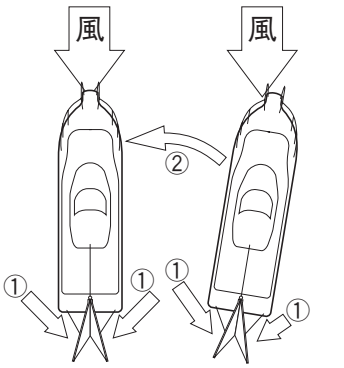
スパンカー効果

流し釣り（アンカーリングをしない釣り）で、船首を風上方向に向けて艇を潮と一緒に流す（図A）際には、スパンカーを張り船首を風上に向ける（図B）ことで、風によってスパンカーに↘（図Bの①）の向きの揚力を発生させる事が出来ます。

この力は、船首が風上に近い方向にある場合には、この揚力で船首を風上に向ける力←（図Bの②）が働きます。



図A

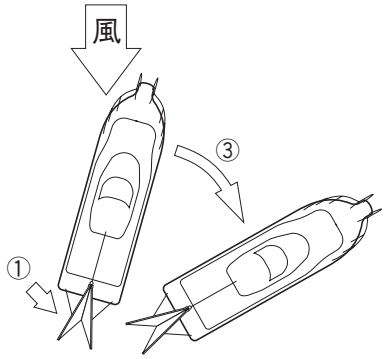


船首の振れ角度が小さければ
船首は風上に戻る

図B

艇のコントロール

風向きと船首の振れ角度が小さければ、図Bの右図の様に船首は風上に戻りますが、艇の振れ角度が大きくなると下図Cの様にスパンカーの揚力より、船首を風下に向けようとする力（③↘）が大きくなるため、船首を風上にコントロールし、保持することができなくなります。したがって、風向きが変わったり船首が波などで振られた場合には、早い段階で、シフト・スロットル・ステアリングの操作を行って船首向きの補正が必要となります。



船首の振れ角度が大きくなると
船首は風下に流れてしまう

図C

各部の名称と付属品の確認

下記の付属品が揃っていることを確認してください。

梱包は

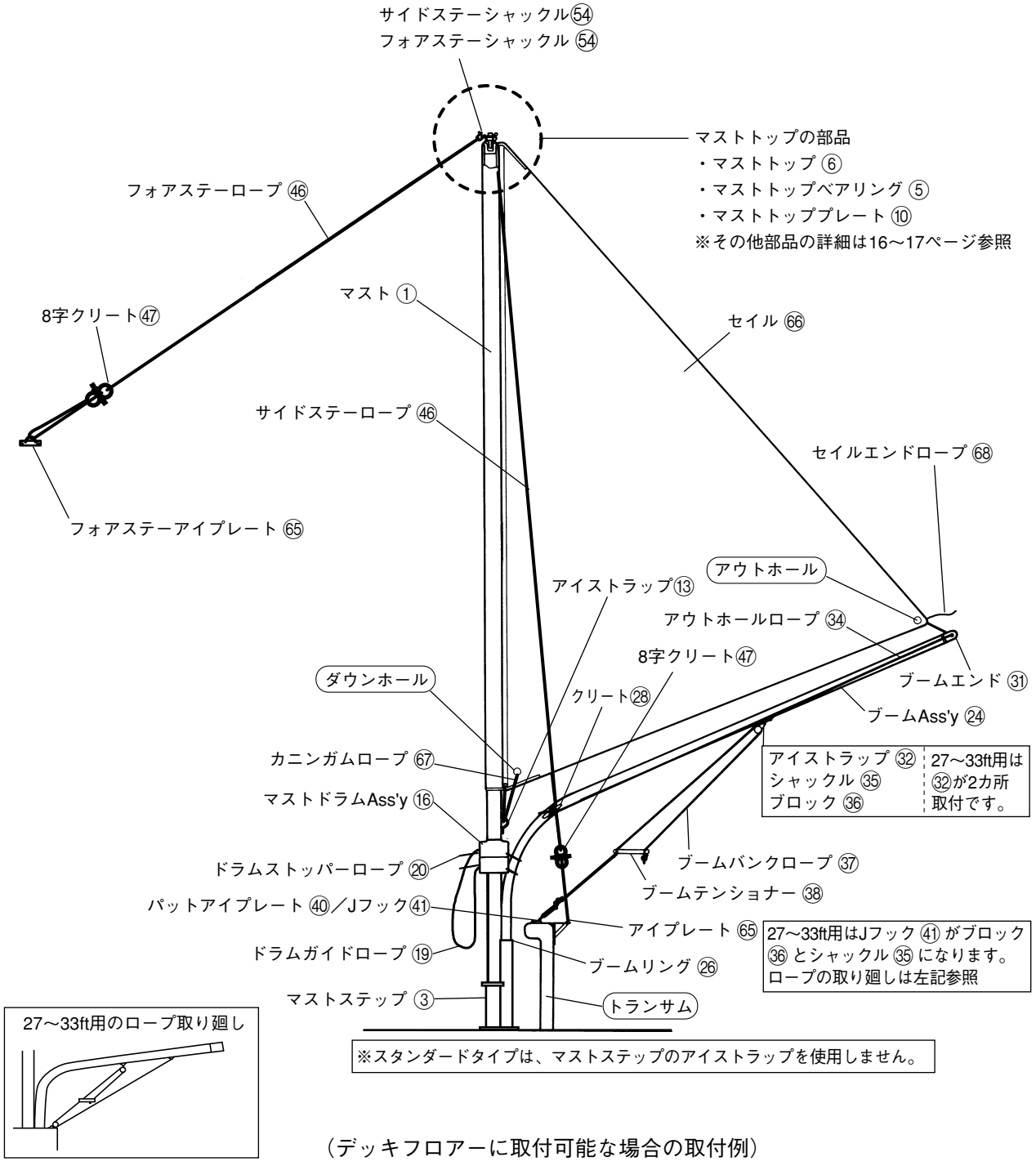
・マストAss'y

・ブームAss'y 2本

・マストステップ

の3梱包です。マストAss'yは組み立てられた状態です。

ブームAss'yは、ブームエンド ㉛ アイストラップ ㉜ が取付済みです。マストステップの箱の中には艇体に取り付ける部品が入っています。詳細部品と各個数は、パーツリスト（16～17ページ）を参照してください。



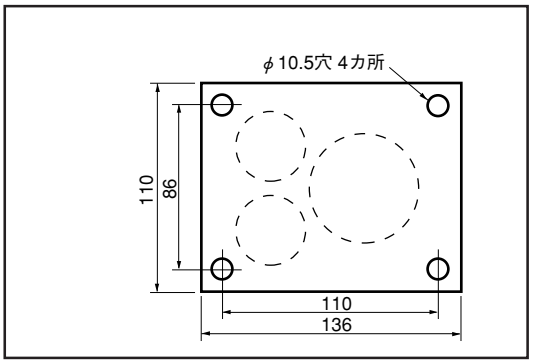
（デッキフロアーに取付可能な場合の取付例）

スタンダードタイプ

取付前の確認

【1】マストステップ取付位置

マストステップはデッキ（下図 ❶ ）及びスターンブルワーク（下図 ❷ ）に取り付けますので、右記の取付穴位置を確認し、取付位置を決めてください。



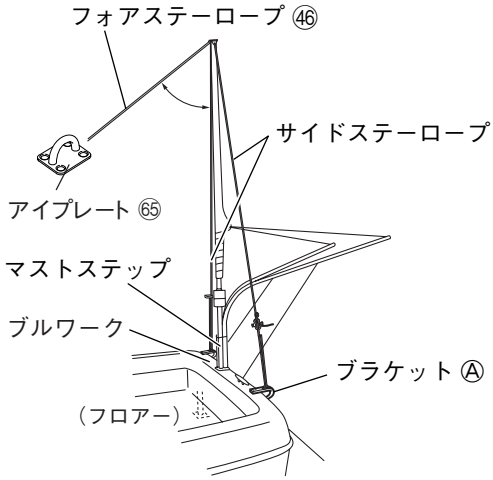
【2】アイプレートの取付位置

・フォアステーロープ ㊻ 、アイプレート ㊺ は艇体キャビン上面のセンターに取り付けます※1)。その際、8の字クリートが容易に操作できるところへ取り付けると便利です。

・ブルワークに取り付けの場合、サイドステーの角度がボートの側面から見て3度以上になるように、又サイドステーのアイプレートは、マストより後方に25cm以上の位置に取り付けてください（下図 ❷ ）。
ブルワークにブラケット Ⓐ を現地にて艇に合わせ製作し、取り付けてください。

・ブームバンクロープ㊲、アイプレート㊵は、ブームアングルを一番広げた状態から外側に取り付けます。（下図 ❹ ）

※1) オフセットスパンカーの場合は、各艇種別のサービスガイド記載位置に取り付けます。



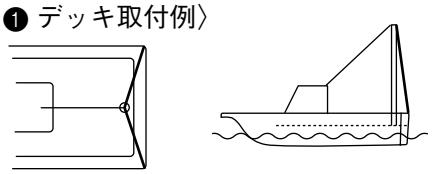
注　意

- 各サイドステーの角度が指示値より小さいと、マストに負荷が掛かり、損傷の原因となります。
- マストステップ、アイプレート、パットアイ、現地製作ブラケットの取付面の裏側には、補強材を必ず入れて貫通ボルトで固定してください。

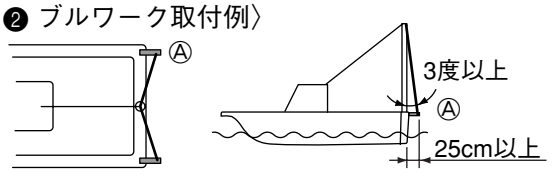
・オプションで可倒式ヒンジベースを取り付けた場合は、サイドステーの脱着が必要になりますので、アイプレートをトランサムステップに取り付けない方が便利です。

取付要点

〈 ❶ デッキ取付例〉

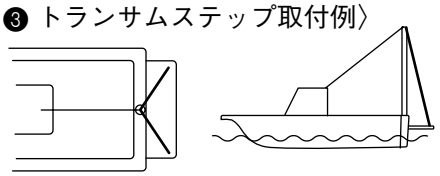


〈 ❷ ブルワーク取付例〉



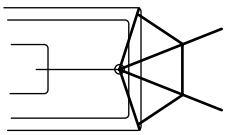
現地にてブラケット Ⓐ 取付

〈 ❸ トランサムステップ取付例〉



トランサムステップ

〈 ❹ 取付例〉



取付方法

【1】マストステップの取り付け

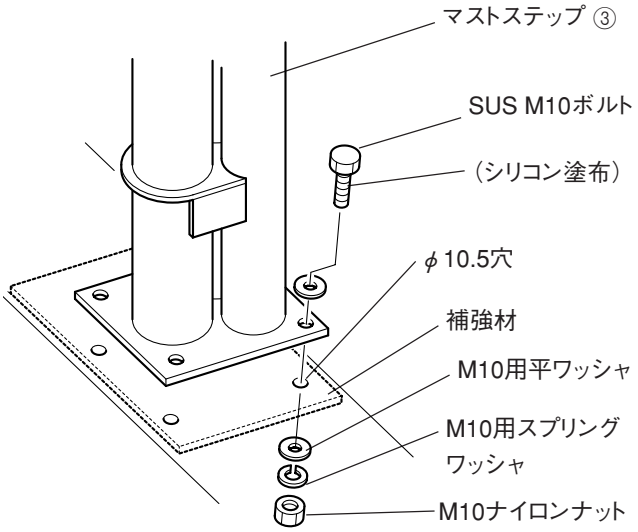
FRPのフロアーまたはブルワークトップに取り付ける場合について説明します。

(1) 取付面の裏側には必ず補強材等を入れ、取付面の補強を現地で施工してください。

(2) ボートの中心線とマストステップ ③ の中心線を合わせ、取付穴位置を決定します。
オフセットスパンカーの場合は、各艇種別のサービスガイドの記載位置で設定してください。

(3) φ10.5mmのドリルを使用し、フロアーまたはブルワークトップに4つの取付穴をあけます。

(4) SUS製M10ボルトを現地にて用意し、ボルトにシリコンを塗布し、貫通ボルトを入れて裏から平ワッシャ・スプリングワッシャ・ナットで固定します。

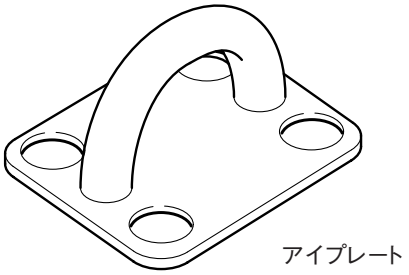


注 意

- 補強材がない場合、艇体の破損につながる可能性があります。

【2】アイプレートの取り付け

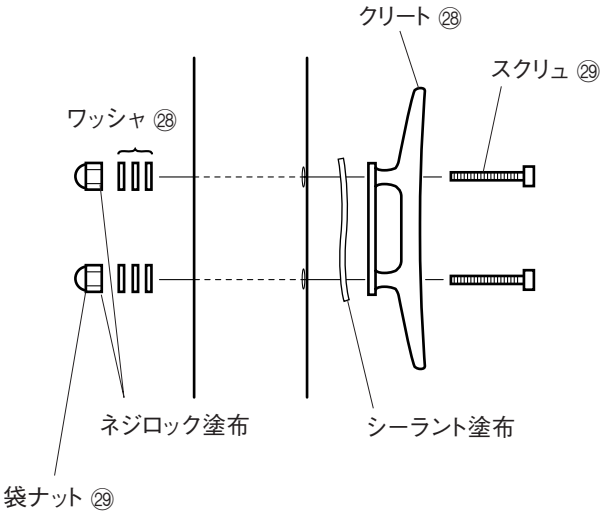
前頁で確定したアイプレート取付位置に、ステー・ロープを艇体に固定するためのアイプレート ⑮ ×3、⑩ ×2を取り付けます。
(サイドステー用×2個、ブームバンクロープ用×2個、フォアステー用×1個)
ボルトは (丸頭)を使用してください。



【3】マストおよびブームの取り付け

(1) ブームのクリートを取り付けてください。(右図参照)

- クリートのブームと接触する面の全体にシーラントを塗布します。
- ブームに取付用の穴が開いていますので、クリートを外側にボルト止めします。
- 袋ナット内部にネジロックを塗布し、ワッシャを3枚挟み、締め付けます。その際、締めすぎますとナイロンクリートが割れる場合がありますので、注意してください。
- 塗布したシーラントのはみ出している部分を拭き取ります。

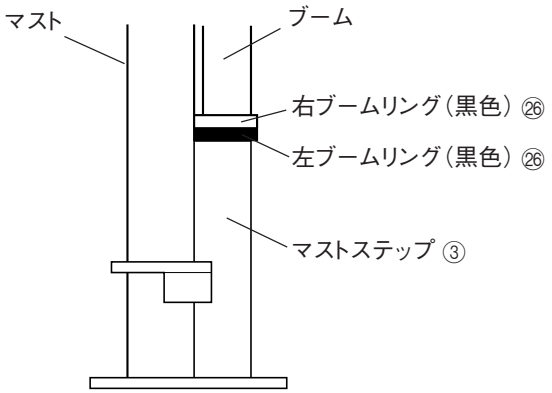


(2) 左右のブームに、ブームリング ㉖ を入れてください。左右が段違いになりますが、それが正しい付け方です。

(3) マストステップに左右のブームとマストを差し込んでください。

要　点

- ブームを差し込んだ後にマストを差し込んでください。順番を間違えると、マストドラムとブームが干渉しブームの差し込みができなくなります。



【4】サイド・フォアステーの装着

(1) 左右サイドステーロープ ㊻ 及びフォアステーロープの長さを確定して切断します。

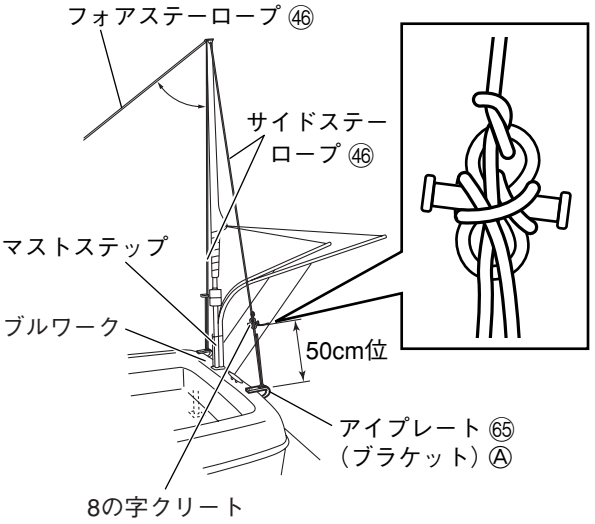
(2) ステーロープに8の字クリートを次ページ【4】-1のように取り付けてください。最初に、サイドステーのテンションの調整を行います。

(3) 同じくフォアステーロープの調整をします。

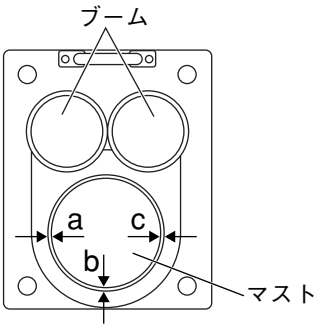
(4) ステーロープに緩みがないか確認をします。

要　点

- マストとマストステップとの隙間が各方向均等になるようにサイド／フォアステーの張りを調整してください。



(5) 調整後、マストが回るかどうか確認してください。



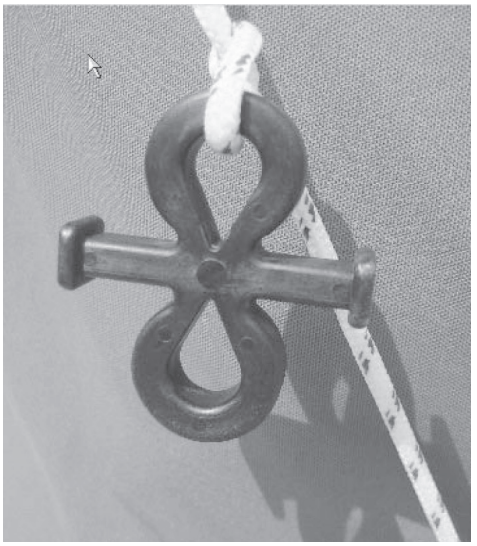
a〜cの隙間は同じにする。

マストステップを上から見た図

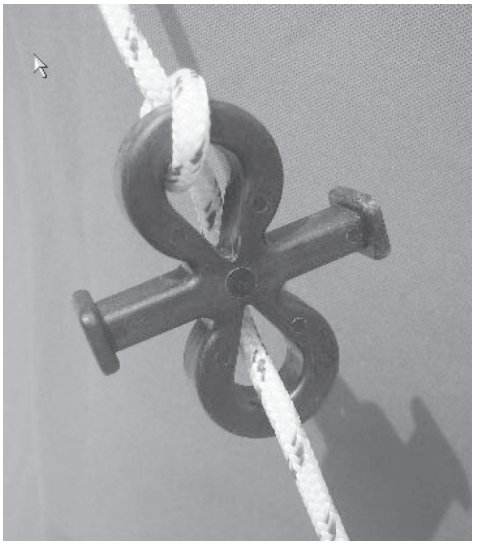
【4】-1 8の字クリートの結び方

(1) サイドステーロープをアイプレートに通し8の字クリートの位置決めをします。
(参考寸法:アイプレートより50cm位)

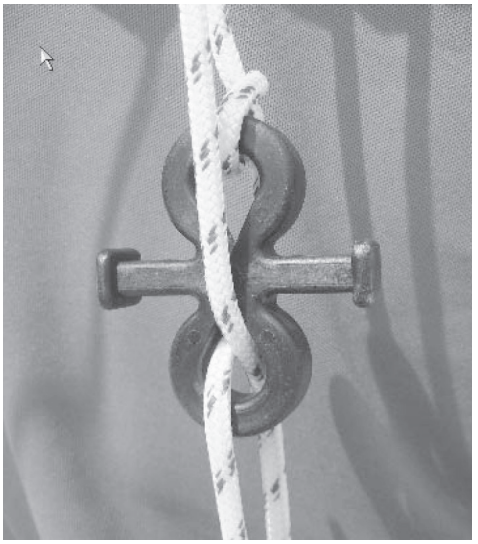
(2) サイドステ―ロープをアイプレートより外し、先程位置決めした位置で8の字クリート上部穴にひと結びします。



(3) ステーロープを8の字クリート下部の穴に通します。



(4) アイプレートにステ―ロープを通し、8の字クリート下部の穴に通します。

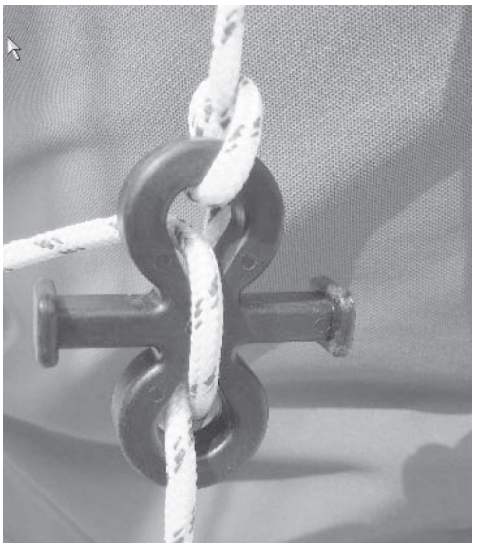


⚠警告

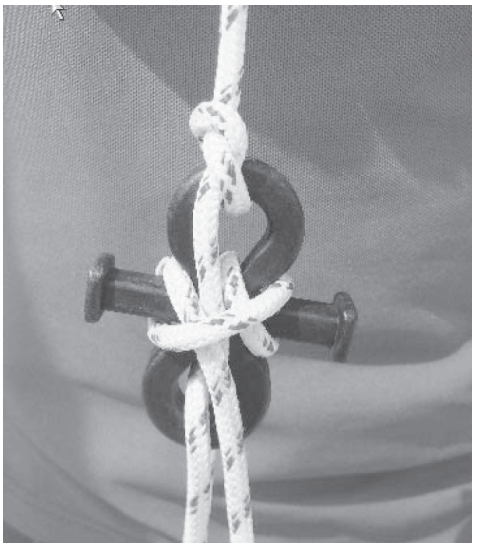
- 先程通したロープとクロスするように通してください。通し方を誤ると8の字クリートが破損しスパンカーが倒れてケガをするおそれがあります。

取付方法

(5) ステ―ロープを8の字クリート上部穴に通し、ステーロープを下方向に引張りステーロープの張りの調整をします。(仮締めの状態)



(6) ステーロープを8の字クリートのサイドシャフトにクリート結びで固定します。



(7) 反対側のサイドステーとフォアステーを同様に固定します。

(8) 3本共仮締めした状態でマストとマストステップの隙間が均等になるように本締めします。
マストを手で持ちスムースに回るか確認してください。

注　意

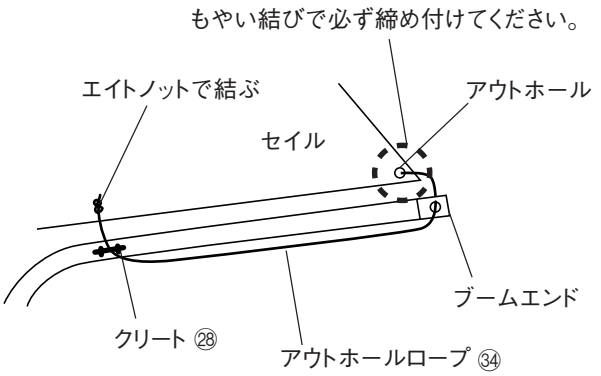
- 使用後はロープに緩みがないか確認してください。
  初期の頃は多少ロープが伸びるので注意してください。

【5】アウトホールロープの取り付け

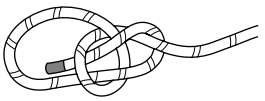
・アウトホールロープ ㉞ の片端を、セールのアウトホール穴に、必ずもやい結びで短く結びます。
・ロープのもう片端は、右図のように、ブームエンドの先端の穴に内側から通し、クリート ㉘ の中央穴に通します。アウトホールロープの先端は抜けないようにエイトノット結びをして抜け止めします。

注　意

- アウトホールロープの片端をセイルのアウトホールの穴にもやい結びで結んでください。もやい結びで結ばないと、セイルが破損する可能性があります。



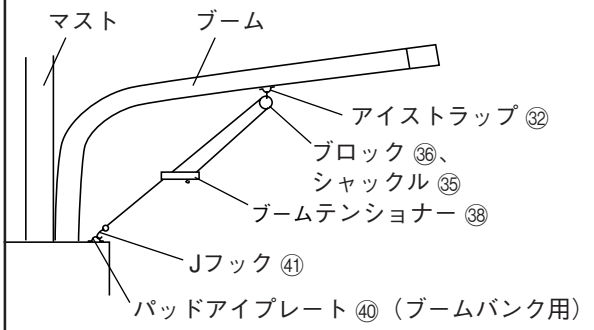
もやい結びの結び方



エイトノットの結び方

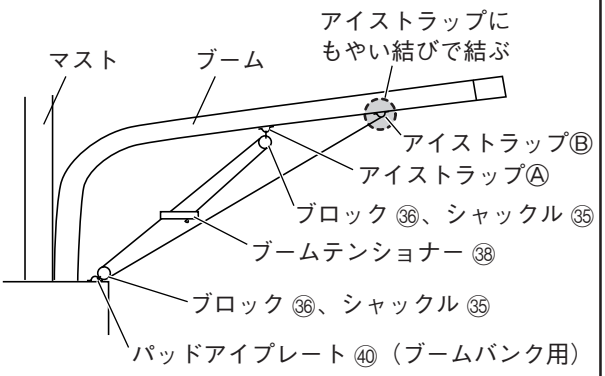
【6】ブームバンクロープの取り廻し方法

ブームバンクの取り付け
（20～27ft用・小スパンカー）



1. ブロック ㊱ にシャックル ㉟ を付けアイストラップ ㉜ に取り付け
2. ブームバンクロープにJフックを付け、パッドアイプレートに取り付ける
3. ブームテンショナー ㊳ にロープを通し、ブロック側より回ってきたロープをブームテンショナー ㊳ のもう一方の穴に通し長さを確定し、ロープ端部をエイトノット結びで結ぶ

ブームバンクの取り付け
（27～33ft用・中スパンカー）



1. ブロック ㊱ にシャックル ㉟ を付け、アイストラップ Ⓐ に取り付け
2. ブームのアイストラップ Ⓑ にブームバンクロープをもやい結びで結ぶ
3. パッドアイプレートにブロック ㊱ 、シャックル ㉟ を付ける
4. ブームバンクロープを下のブロック ㊱ に通す
5. ブームテンショナー ㊳ にロープを通し、上のブロック ㊱ 側より回ってきたロープをブームテンショナー ㊳ のもう一方の穴に通し長さを確定し、ロープ端部をエイトノット結びで結ぶ

展開方法

【1】セイルの展開準備

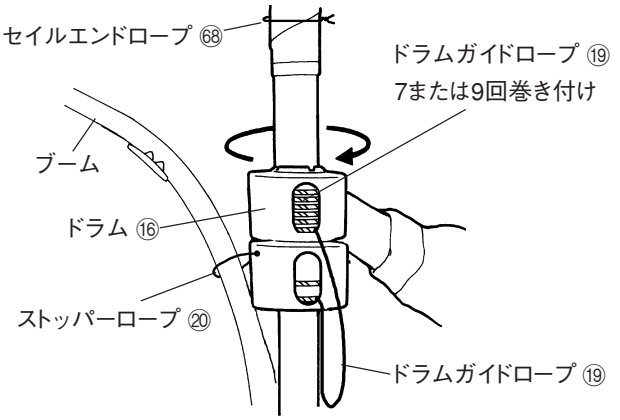
注　意

- セイルを展開する前には、必ずサイドステーロープ ㊻ とフォアステーロープ ㊻ の張り具合を確認してください。ゆるんでいた場合は、再度ステーを張ってください。(8ページ【4】参照)

(1) ドラム ⑯ の上側に、予めドラムガイドロープ ⑲ が20～27ft用・小スパンカーは7回、27～33ft用・中スパンカーは9回巻き付けられていることを確認します。

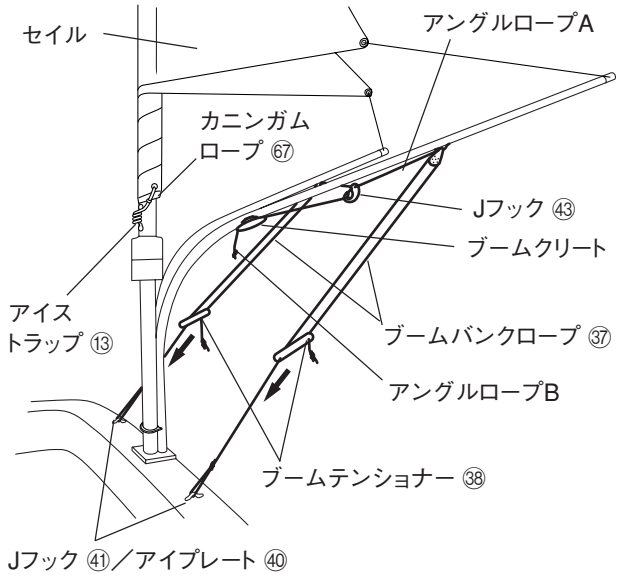
(2) ドラムカバーのストッパーロープ ⑳ を、左右ブームに固定します。

(3) セイルエンドロープ ㊽ を外します。



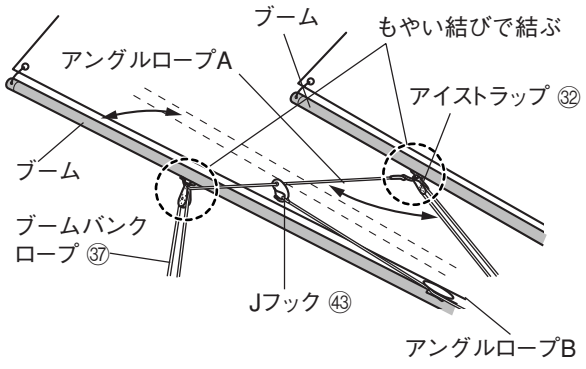
要　点

- セイルの回転がスムーズでない時は、マストとマストステップとの隙間が各方向均等になるようにサイド＆フォアステーの張りを調整してください。(8ページ【4】参照)



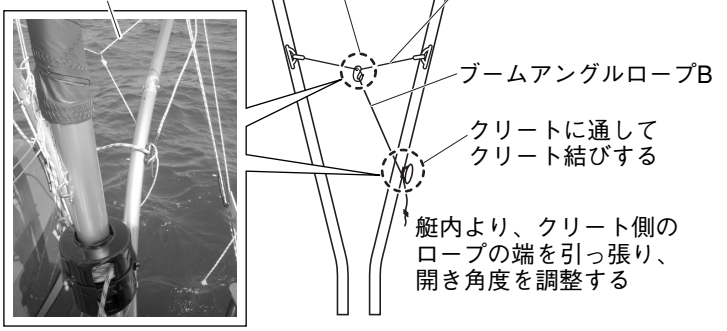
(4) アングルロープA(1.5m)の中間に、開き角度調整用のJフック ㊸ を結びます。
アングルロープAの両端をアイストラップ ㉜ にもやい結びで付けます。

(ブームの後方より見た図)



(5) ブームアングルロープB(1.5m)を、ブームの角度調整用として、右図の様に展開します。

(ブームを上から見た図)



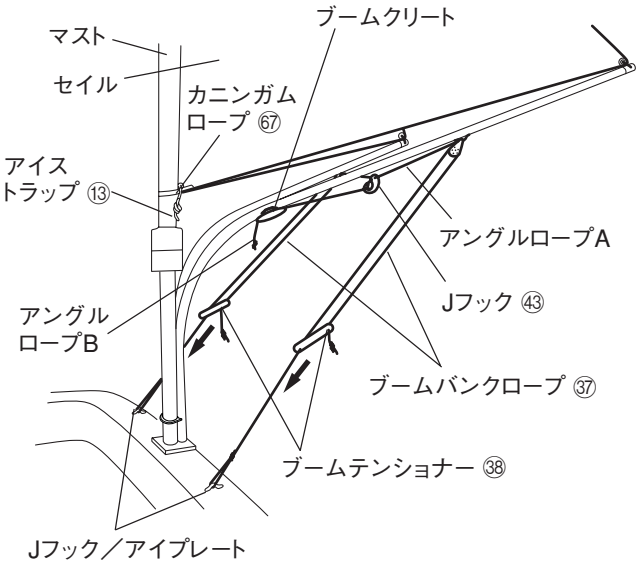
(6) 左右のブームバンクロープ ㊲ のブームテンショナー ㊳ を引き下げて、張ります。ブームテンショナーから手を離すと、自然に固定されます。

(7) カニンガムロープ ㊼ を下方向に引き、アイストラップ ⑬ に固定します。

(8) ブームテンショナー ㊳ を上げ、ブームバンクロープを少し緩めます。

(9) 上側のドラムサイドロープ ⑲ を引き、セイルを展開すると同時にアウトホールロープ ㉞ をバウ側へ片手で引きます。

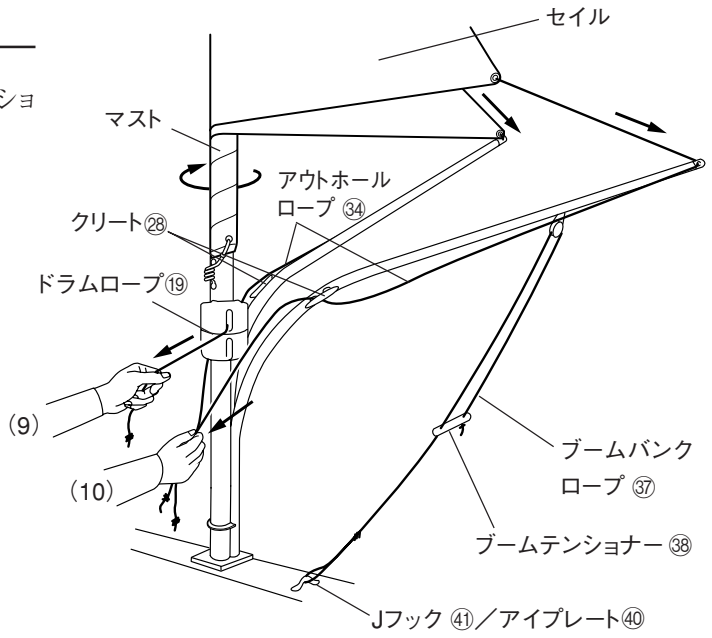
(10) セイルがブームエンドまで展開されたら、アウトホールロープ ㉞ をブームのクリート ㉘ にクリート結びで固定します。



注 意

- アウトホールロープのエンド(端)は、ブームのクリートから抜けないようにエイトノット結びにしておいてください。アウトホールロープが抜けると、船上からは修復取付が不可能となります。

(11) 最後に、展開前に少し緩めた左右のブームテンショナー ㊳ を強く張ってください。



セイルとブームの調整

【1】ブーム開き角度の調整方法

注　意

- 風が強い場合はブーム角度を狭く、風が弱い場合はブーム角度を広くして使用してください。

ブーム角度を狭くするとき

（1）左右のブームバンクロープ ㊲ のブームテンショナー ㊳ を緩めます。

（2）ブームアングルロープBの端を艇側よりひっぱり、クリートに固定します。

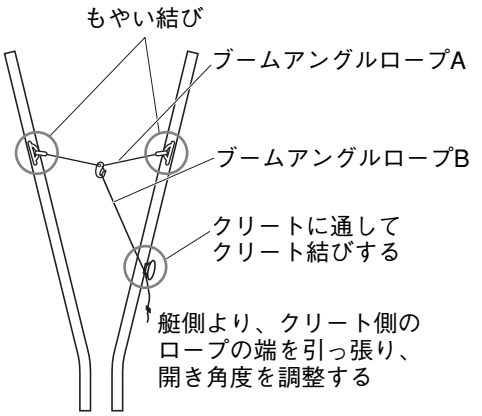
（3）再び左右のブームバンクロープ ㊲ のブームテンショナー ㊳ を張ります。

風が弱まり再びブーム角度を広くするとき

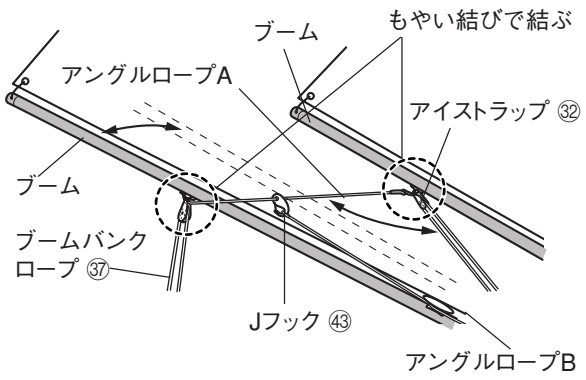
（1）左右のブームバンクロープ ㊲ のブームテンショナー ㊳ を緩めます。

（2）ブームアングルロープBの端を緩め、クリートに固定します。

（3）再び左右のブームバンクロープ ㊲ のブームテンショナー ㊳ を張ります。

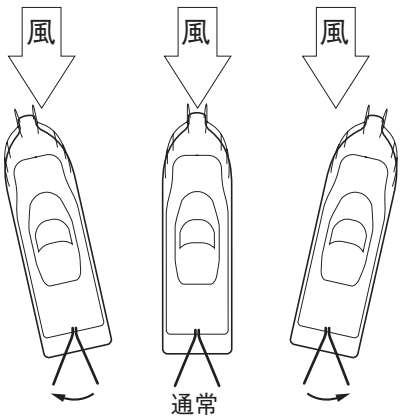


（ブーム上面図）



【2】ブームの向き調整

頻繁に船首が振られ、ステアリング操作が煩雑だと釣りの楽しさも半減です。スパンカーを左右に振ることにより、風に対する船首の向きを調整することができます。スパンカーのセールの角度やステアリングを少しずつ振ってみて、最もステアリング操作が楽な向きを探してください。潮や風、釣り方によって風上に真っ直ぐに向けた方が良い場合もあれば、風上から少し船首に角度をもたせた方が良い場合もあります。



スパンカーを左舷に向けたい場合（➡）

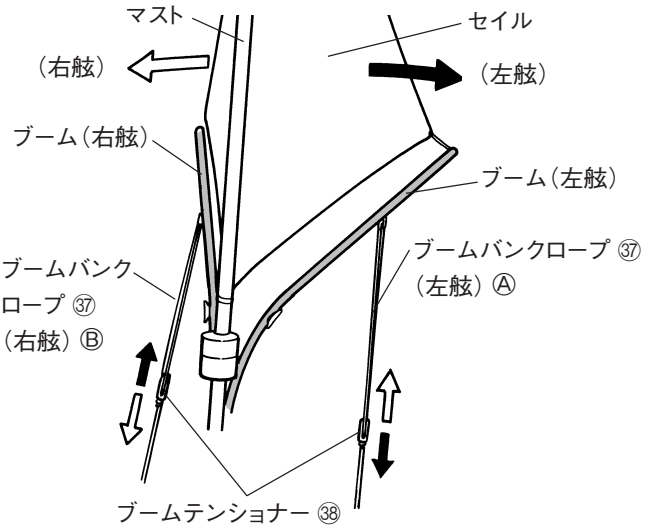
（1）右舷のブームバンクロープ ㊲（右図 Ⓑ）のブームテンショナー ㊳ を緩めます。

（2）左舷のブームバンクロープ ㊲（右図 Ⓐ）のブームテンショナー ㊳ を張ります。

スパンカーを右舷に向けたい場合（⇦）

（1）左舷のブームバンクロープ ㊲（右図 Ⓐ）のブームテンショナー ㊳ を緩めます。

（2）右舷のブームバンクロープ ㊲（右図 Ⓑ）のブームテンショナー ㊳ を張ります。

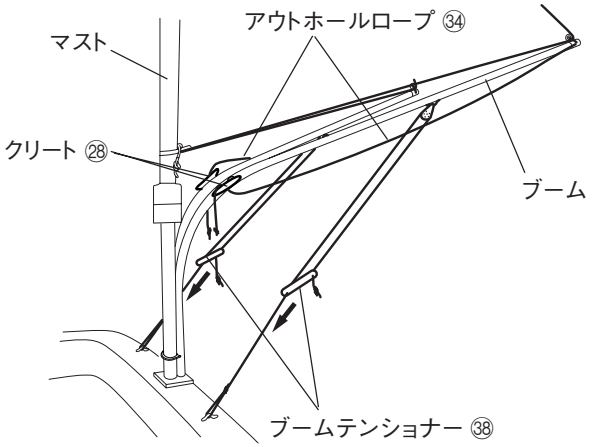


収納方法

【1】セイルとブームの収納

収納前に両サイドのブームテンショナー ㊳ を少し緩めてください。

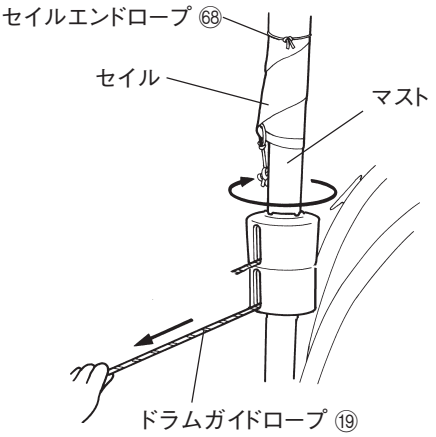
(1) ブームのクリート ㉘ に固定してあるアウトホールロープ ㉞ を外します。



(2) 下側ドラムガイドロープをバウ側へ引きます。マストが回転し、セイルが収納されます。収納後、ドラムガイドロープをマストに固定してください。

(3) セイルエンドロープをマストに巻きつけて固定します。

(4) 最後に、展開前に少し緩めたブームテンショナー ㊳ を強く張ってください。

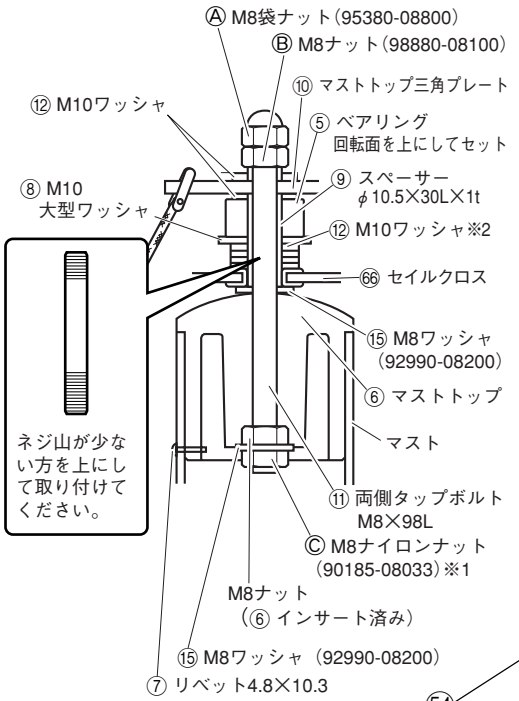


スタンダードタイプ

パーツリスト

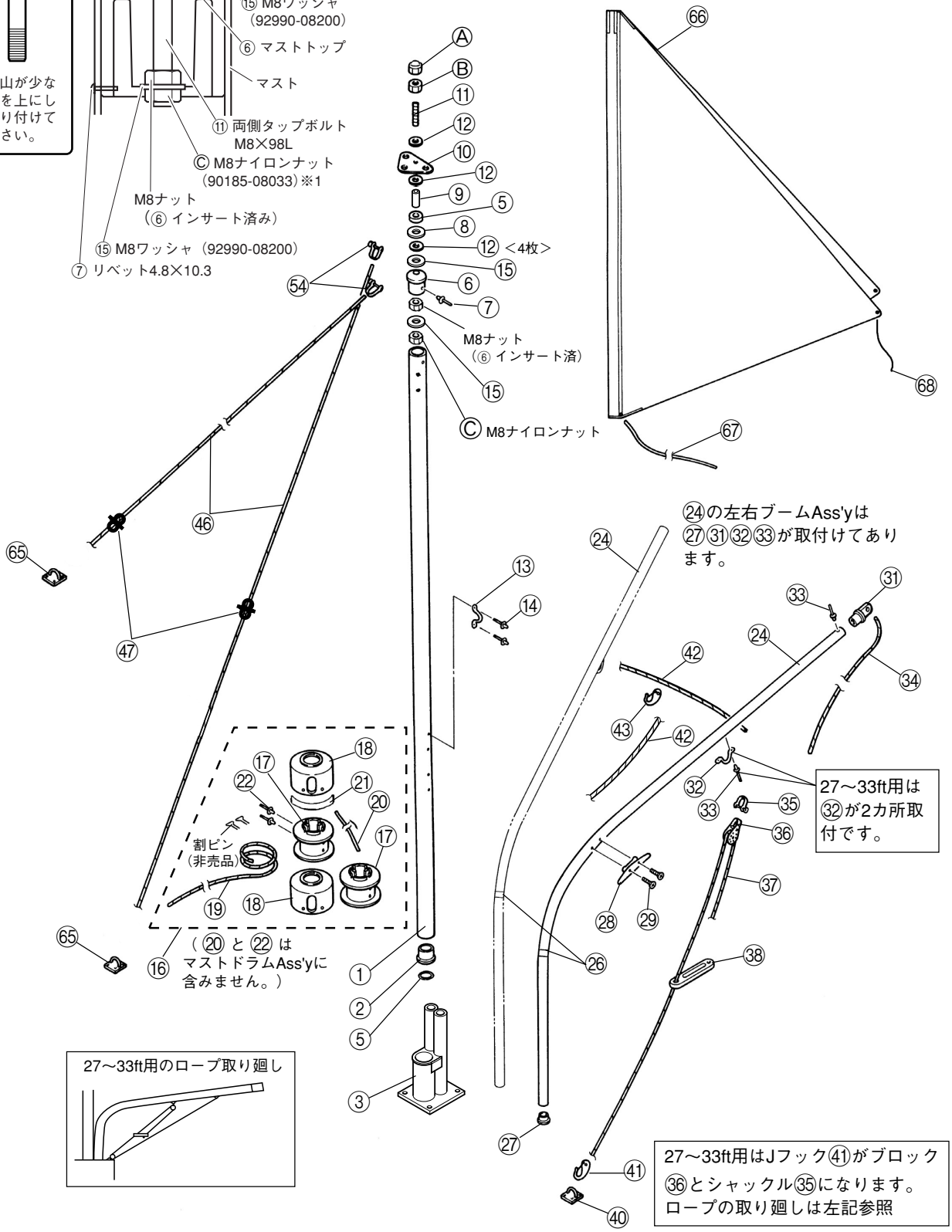
20～27ft用・小スパンカー（品番：QX4-SAS-G00-200）
27～33ft用・中スパンカー（品番：QX4-SAS-G00-100）

27～33ft用スパンカーは、ブームが長いため、ブームは2カ所のアイストラップ ㉜ を使用しています。Jフック ㊶ は代替して、ブロック ㊱㉟ 2個に変更になります。



・ マストトップ部には左記の図の順に取り付けてください。両側タップボルト及び※1のM8ナイロンナットによる締め付けにて※2のM10ワッシャの枚数が3枚になる事があります。
先端のM8の袋ナットを締める際、全体的に隙間の無いように注意してください。
M8ナイロンナット（※1）を締め上げ調整をしてください。
（但し三角プレート等が動き回転できる程度にて締め上げてください。）
先端に取り付けるM8の六角ナット・袋ナット、M8ナイロンナット（※1）にはネジロックにて取り付けてください。塗布されていませんと使用中に緩んで外れることがあります。

・ マストボトムの取付
送付されているマストボトムを現在付いているものと取り替えてください。
取り付ける際はシリコンシーラント等で接着しはめ込んでください。



ｶﾃｺﾞﾘｰ	No.	部品番号	部品名称	個数	備考
マスト	1	90790-80101	小マスト	1	φ55×2.5t×3700L
		90790-80161	中マスト	1	φ55×2.5t×4200L
	2	90790-80103	マストボトム	1	6ナイロン
	3	QX4-SAS-002-0MS	マストステップ	1	SUS304
		Q8T-SAS-002-002	・ブームナイロンテープ	2	ナイロン300テープ
	5	Q8T-SAS-001-005	マストベアリング(上・下キット)	1set	2×1、5×2、12×3入り
	*	Q8T-SAS-002-003	マストナイロンテープ	2	ナイロン500テープ
	13	90790-80165	アイストラップ	1	SUS6mm
	14	97780-50312	リベット	2	SUS4.8×10.3
マストトップ	6	90790-80102	マストトップ	1	6ナイロン
	7	90267-48938	マストトップリベット	1	SUS4.8×10.3
	8		マストトップワッシャ大	1	大型 M10
	9	90790-80124	マストトップスペーサー	1	φ10.5×1t×30L
	10	90790-80122	マストトップ三角プレート	1	SUS304
	11	90790-80168	マストタップボルト	1	M8両側タップボルト
	12	92990-10200	マストトップワッシャ	6	M10
	15		ワッシャ	2	M8
マストドラム	16	90790-82161	マストドラムAss'y	1	ガイドロープはφ6×4.5mを使用
	17	･90790-80141	・マストドラム	2	6ナイロン
	18	･90790-80142	・マストドラムカバー	2	6ナイロン
	19	･Q8T-SAS-001-021	・小マストドラムガイドロープ	1	φ6×4m
		･Q8T-SAS-002-021	・中マストドラムガイドロープ	1	φ6×4.5m
	21	･90790-82091	・ドラムベルト	2	6ナイロン
		･非売品	・スクリューボルト(ドラムベルト用)	4	M4×60L
		･非売品	・ナイロンナット(ドラムベルト用)	4	M4
	20	90790-80139	マストドラムストッパーロープ	2	φ3×0.5m
	22	90267-48940	マストドラムリベット	4	φ4.8×11.9
ブーム	24	QX4-SAS-002-20B	小ブームAss'y R500 6063-T5 左右	2	φ35×3.5t×2800L
		QX4-SAS-002-10B	中ブームAss'y R500 6063-T5 左右	2	φ35×3.5t×3120L
	27	･Q8T-SAS-002-006	・ブームボトム	2	6ナイロン
	28	･90790-80172	・ナイロンクリート110	2	
		･Q8T-SAS-002-010	・ワッシャ	12	M4
	29	･Q8T-SAS-002-011	・スクリューボルト	4	M4×60L
		･Q8T-SAS-002-012	・袋ナット	4	M4
	31	･Q8T-SAS-002-007	・ブームエンド	2	6ナイロン
	32	･90790-80116	・アイストラップ	2	小用2個、中用4個
	33	･90790-80170	・リベット	6	SUS4.8×10.3(小用6個、中用10個)
	34	Q8T-SAS-002-008	小アウトホールロープ	2	φ6×4.5m
		Q8T-SAS-002-009	中アウトホールロープ	2	φ6×5.5m
	35	Q8T-SAS-002-040	シャックル	2	SUS 5mm(中用4個)
	36	Q8T-SAS-002-041	ブロック35mm	2	(中用4個)
	37	Q8T-SAS-002-022	小ブームバンクロープ	2	φ6×3.5m
		Q8T-SAS-002-023	中ブームバンクロープ	2	φ6×5.0m
	38	90790-80137	ブームテンショナー	2	6ナイロン
	26	90790-80169	ブームリング	2	6ナイロン
	40	90790-80167	パットアイプレート	2	SUS 6mm
	41	Q8T-SAS-002-042	Jフック	2	50mm(中用は無し)
	42	90790-80138	ブームアングルロープ	2	φ4×1.5m
	43	Q8T-SAS-002-042	ブームアングルJフック(ブーム･センター取付用)	1	SUS 50mm
マストステー	46	Q8T-SAS-002-024	小フォア、サイドステーロープ	3	φ4.5×5.5m
		Q8T-SAS-002-025	中フォア、サイドステーロープ	3	φ4.5×6.0m
	47	Q8T-SAS-002-000	8の字クリート　ステー用	3	66ナイロン　G33
	54	Q8T-SAS-002-040	ステーシャックル フォア、サイド	3	SUS 5mm
	65	90790-80167	ステーパットアイプレート フォア、サイド	3	
セール	66	90790-80120	小セイルクロス	1	
		90790-80162	中セイルクロス	1	
	67	Q8T-SAS-001-028	セイルカニンガムロープ	1	φ4×1.0m
	68		セイルエンドロープ	1	φ3×0.7m
		Q8T-SAS-002-043	取扱説明書	1	

折り畳みタイプ

各部の名称と付属品の確認

下記の付属品が揃っていることを確認してください。

梱包は

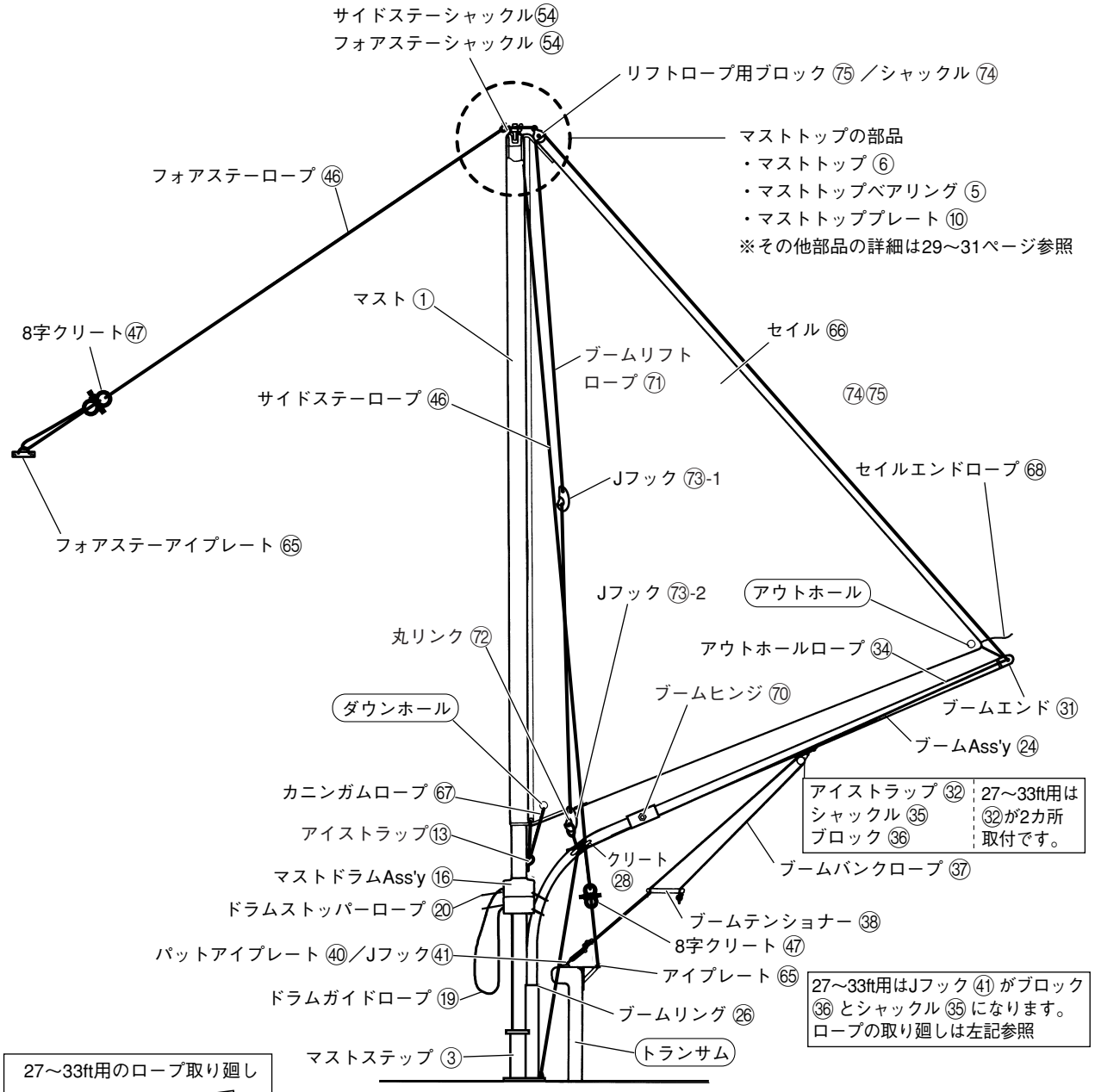
・マストAss'y

・ブームAss'y 2本

・マストステップ

の3梱包です。マストAss'yは組み立てられた状態です。

ブームAss'yは、ブームエンド ㉛ アイストラップ ㉜ ブームヒンジ ㉚ が取付済みです。マストステップの箱の中には艇体に取り付ける部品が入っています。詳細部品と各個数は、パーツリスト（29～31ページ）を参照してください。

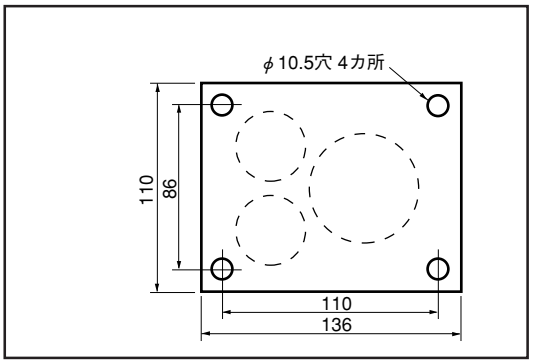


（デッキフロアーに取付可能な場合の取付例）

取付前の確認

【1】マストステップ取付位置

マストステップはデッキ（下図 ❶ ）及びスターンブルワーク（下図 ❷ ）に取り付けますので、右記の取付穴位置を確認し、取付位置を確定してください。



【2】アイプレートの取付位置

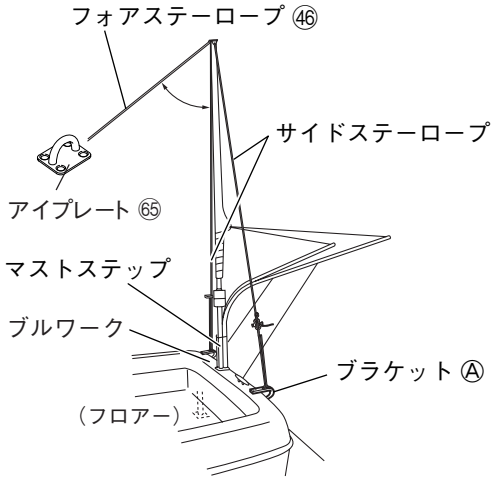
・フォアステーロープ ㊻ 、アイプレート ㊺ は艇体キャビン上面のセンターに取り付けます※1)。その際、8の字クリートが容易に操作できるところへ取り付けると便利です。

・ブルワークに取り付けの場合、サイドステーの角度がボートの側面から見て3度以上になるように、又サイドステーのアイプレートは、マストより後方に25cm以上の位置に取り付けてください（下図 ❷ ）。
ブルワークにブラケット Ⓐ を現地にて艇に合わせ製作し、取り付けてください。

・ブームバンクロープ㊲、アイプレート㊵は、ブームアングルを一番広げた状態から外側に取り付けます※2)。（下図❹）

※1) オフセットスパンカーの場合は、各艇種別のサービスガイド記載位置に取り付けます。

※2) ブームの展開・収納ができるか確認してください。



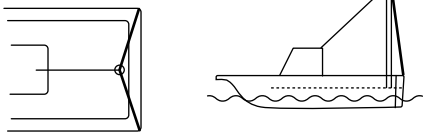
注 意

- 各サイドステーの角度が指示値より小さいと、マストに負荷が掛かり、損傷の原因となります。
- マストステップ、アイプレート、パットアイ、現地製作ブラケットの取付面の裏側には、補強材を必ず入れて貫通ボルトで固定してください。

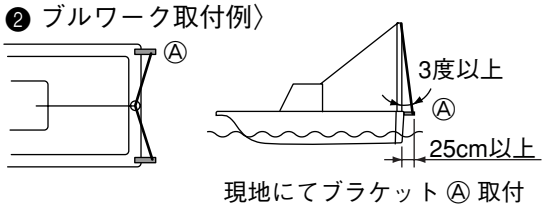
・オプションで可倒式ヒンジベースを取り付けた場合は、サイドステーの脱着が必要になりますので、アイプレートをトランサムステップに取り付けない方が便利です。

取付要点

〈 ❶ デッキ取付例〉

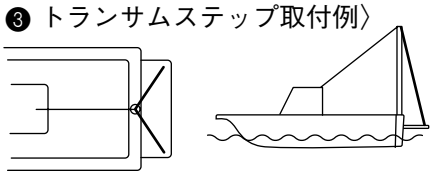


〈 ❷ ブルワーク取付例〉



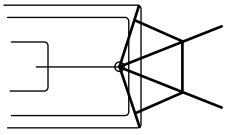
現地にてブラケット Ⓐ 取付

〈 ❸ トランサムステップ取付例〉



トランサムステップ

〈 ❹ 取付例〉



折り畳みタイプ

取付方法

【1】マストステップの取り付け

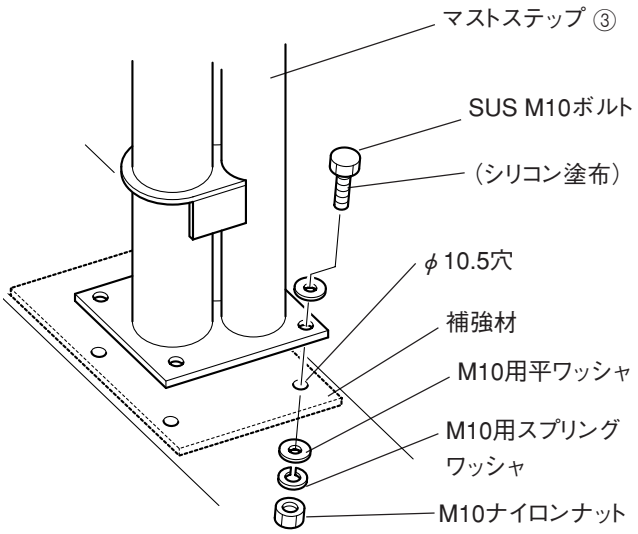
FRPのフロアーまたはブルワークトップに取り付ける場合について説明します。

(1) 取付面の裏側には必ず補強材等を入れ、取付面の補強を現地で施工してください。

(2) ボートの中心線とマストステップ ③ の中心線を合わせ、取付穴位置を決定します。

(3) φ10.5mmのドリルを使用し、フロアーまたはブルワークトップに4つの取付穴をあけます。

(4) SUS製M10ボルトを現地にて用意し、ボルトにシリコンを塗布し、貫通ボルトを入れて裏から平ワッシャ・スプリングワッシャ・ナットで固定します。



注 意

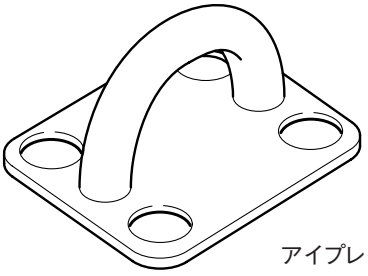
- 補強材がない場合、艇体の破損につながる可能性があります。

【2】アイプレートの取り付け

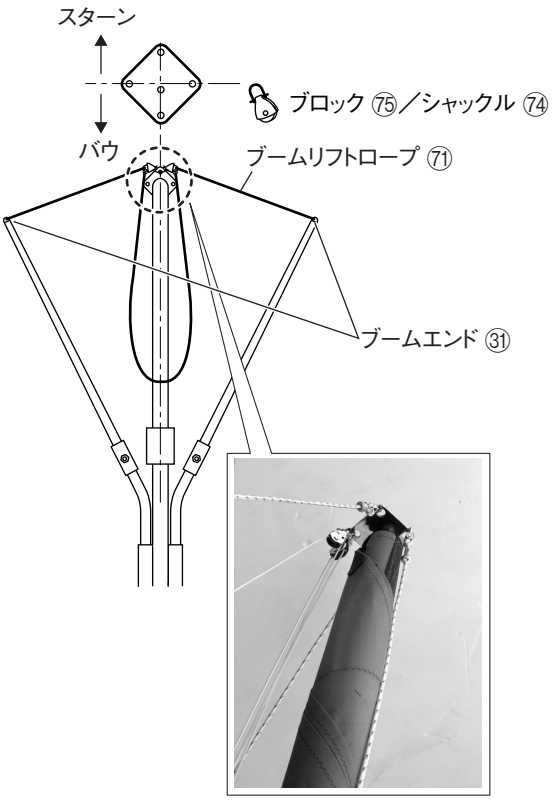
前頁で確定したアイプレート取付位置に、ステー・ロープを艇体に固定するためのアイプレート ⑮ ×3、⑩ ×2を取り付けます。

(サイドステー用×2個、ブームバンクロープ用×2個、フォアステー用×1個)

ボルトは (丸頭)を使用してください。



【3】マストおよびブームの取り付け



(1) ブロックにシャックルを付け、マストトッププレートスターン側にある穴に取り付けます。(2個)

(2) ブームリフトロープを約2100mm～2200mmの長さに切ります。
この切断したロープは「【8】ブームリフトロープの調整(24ページ)」にて使用します。

(3) ブームリフトロープを予め通しておきます。
① 片端をブームエンド ㉛ に結ぶ
② マストトッププレートブロック ⑮ (①で結んだ舷側のブロック)
③ マストドラムの位置までロープをたらしておく
④ マストトッププレートブロック ⑮ (②の反対側)
⑤ ブームエンド ㉛ (①の反対側)に結ぶ

要　点

- マストの取り付けをしてしまうと、ロープを通すことができなくなります。

(4) スタンダードタイプの取り付けに記載してある場合の【3】-(1)、(2)、(3)と同様のセットをしてください(7～8ページ参照)。

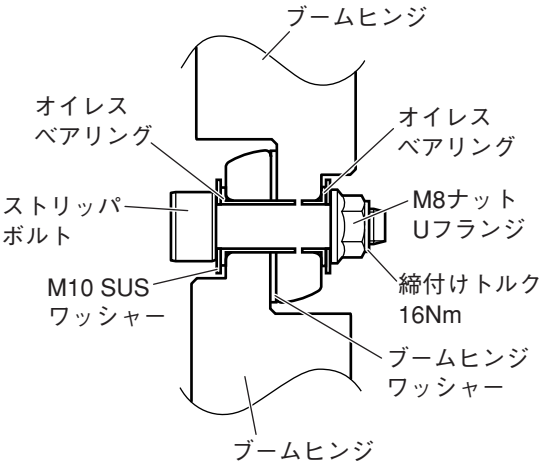
【4】ブームヒンジの組み立て(組立参考図)

注　意

- ストリッパボルトは、頭が外側にくるように組み付けてください。
- M10 SUSワッシャは、ストリッパボルトのストレート部に組み付けてください。

要　点

- スパンカーAss'yまたはブームヒンジAss'yで購入された場合は、ブームヒンジは組み立て済です。ナットとボルトを緩めないでください。



【5】サイド・フォアステーの装着

(1) 左右サイドステーロープ ㊻ 及びフォアステーロープの長さを確定して切断します。

(2) ステーロープに8の字クリートを取り付けてください(9ページ、10ページ【4】-1参照)。最初に、サイドステーのテンションの調整を行います。

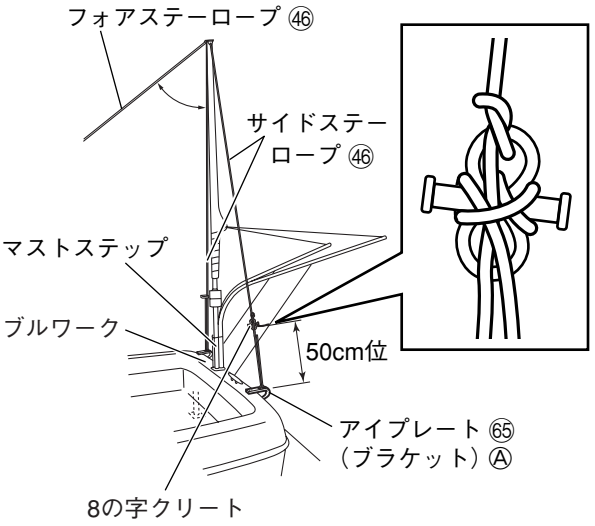
(3) 同じくフォアステーロープの調整をします。

(4) ステーロープに緩みがないか確認をします。

要　点

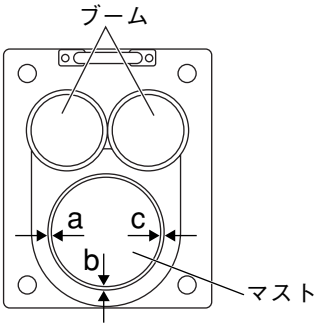
- マストとマストステップとの隙間が各方向均等になるようにサイド／フォアステーの張りを調整してください。

(5) 調整後、マストが回るかどうか確認してください。



【5】-1 8の字クリートの結び方

8の字クリートの結び方はスタンダードタイプを参照してください(9ページ、10ページ【4】-1参照)。



a～cの隙間は同じにする。

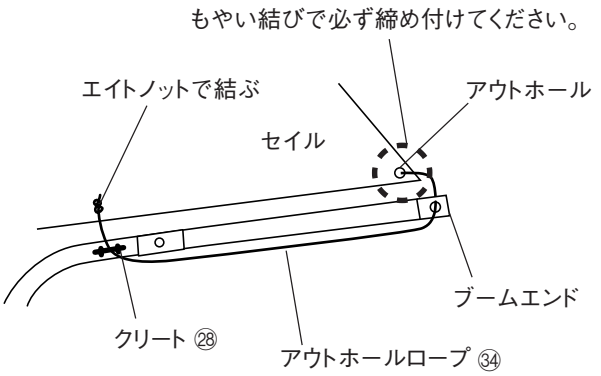
マストステップを上から見た図

【6】アウトホールロープの取り付け

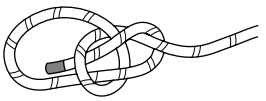
・アウトホールロープ ㉞ の片端を、セールのアウトホール穴に、必ずもやい結びで短く結びます。
・ロープのもう片端は、右図のように、ブームエンドの先端の穴に内側から通し、クリート ㉘ の中央穴に通します。アウトホールロープの先端は抜けないようにエイトノット結びをして抜け止めします。

注　意

- アウトホールロープの片端をセイルのアウトホールの穴にもやい結びで結んでください。もやい結びで結ばないと、セイルが破損する可能性があります。



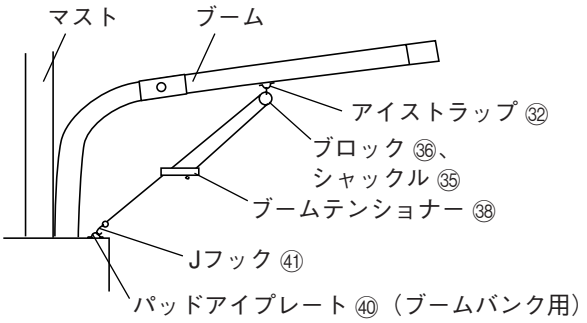
もやい結びの結び方



エイトノットの結び方

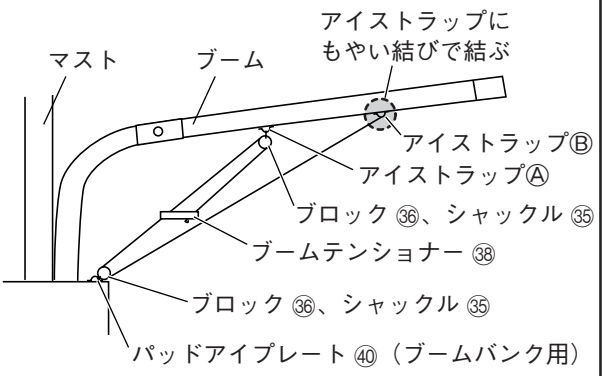
【7】ブームバンクロープの取り廻し方法

ブームバンクの取り付け
（20～27ft用・小スパンカー）



1. ブロック ㊱ にシャックル ㉟ を付けアイストラップ ㉜ に取り付け
2. ブームバンクロープにJフックを付け、パッドアイプレートに取り付ける
3. ブームテンショナー ㊳ にロープを通し、ブロック側より回ってきたロープをブームテンショナー ㊳ のもう一方の穴に通し長さを確定し、ロープ端部をエイトノット結びで結ぶ

ブームバンクの取り付け
（27～33ft用・中スパンカー）



1. ブロック ㊱ にシャックル ㉟ を付け、アイストラップ Ⓐ に取り付け
2. ブームのアイストラップ Ⓑ にブームバンクロープをもやい結びで結ぶ
3. パッドアイプレートにブロック ㊱ 、シャックル ㉟ を付ける
4. ブームバンクロープを下のブロック ㊱ に通す
5. ブームテンショナー ㊳ にロープを通し、上のブロック ㊱ 側より回ってきた※1) ロープをブームテンショナー ㊳ のもう一方の穴に通し長さを確定し、ロープ端部をエイトノット結びで結ぶ

※1) ブームの展開・収納ができる長さにしてください。

【8】ブームリフトロープの調整

「【3】マストおよびブームの取り付け」(21ページ)にて仮通ししたブームリフトの調整について説明します。

(1) 【3】で切っておいた2100mm～2200mmのブームリフトロープをマストステップのアイストラップに通し、ナイロンクリートにロープを通し丸リンク ⑫ を取り付けます(図1参照)。

(2) ブームを収納した位置にします。
左右ブームの位置を合わせ、丸リンク ⑫ に取り付けできるようにJフック ⑬ -1を取り付けます(図2参照)。
〈収納時用Jフック〉

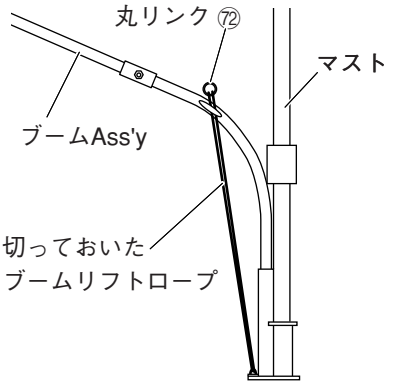
要　点

- ブーム収納時の位置決めをしてください。

(3) ブームを展開した位置にします。
左右ブームの位置を合わせ、丸リンク ⑫ に取り付けできるようにJフック ⑬ -2を取り付けます(図3参照)。
〈展開時用Jフック〉

要　点

- スパンカー展開時の位置決めをしてください。



(図1)

(図2)

(図3)

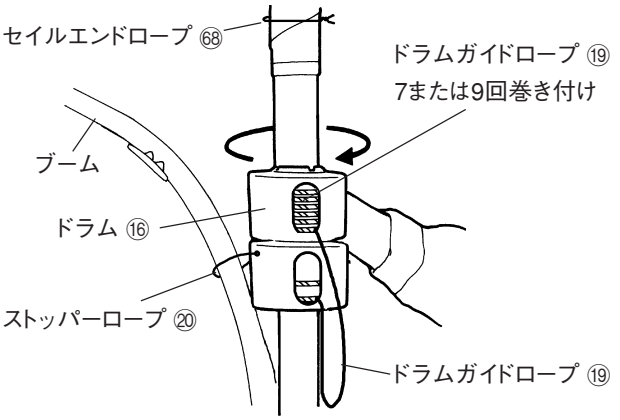
展開方法

【1】セイルの展開準備

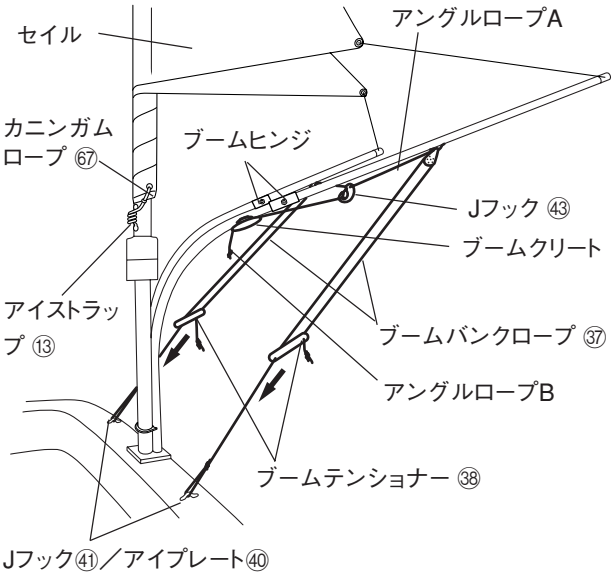
(1) 両サイドのブームテンショナー ㊳ を緩めます。
(2) アウトホールロープを緩めます。
(3) ブームを後方に倒しながらブーム展開時の位置にします(Jフックを丸リンクに掛ける)。

⚠警告

- ブームヒンジで指をはさまないように注意してください。



(4) ブームテンショナー ㊳ をブームが動かなくなるように軽く引き下げます。
(5) ドラム ⑯ の上側に、予めドラムガイドロープ ⑲ が20～27ft用・小スパンカーは7回、27～33ft用・中スパンカーは9回巻き付けられていることを確認します。
(6) ドラムカバーのストッパーロープ ⑳ を左右ブームに固定します。

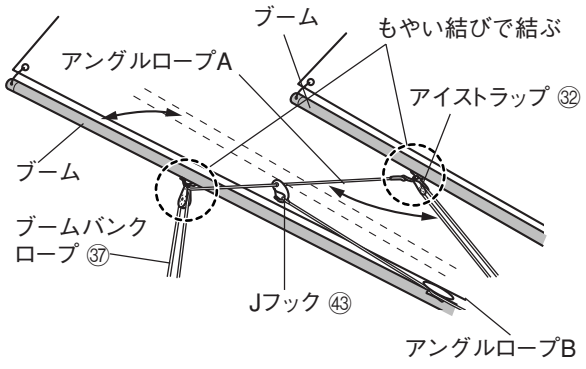


(7) セイルエンドロープ ㊽ を外します。
(8) アングルロープA(1.5m)の中間に、開き角度調整用のJフック ㊸ を結びます。
アングルロープAの両端をアイストラップ ㉜ にもやい結びで付けます。

注 意

- 中スパンカー／折畳みブームの場合は、アングルロープA(1.5m)を後ろ側のアイストラップ(ブームバンクロープ取付用)にもやい結びで取り付けてください。

(ブームの後方より見た図)

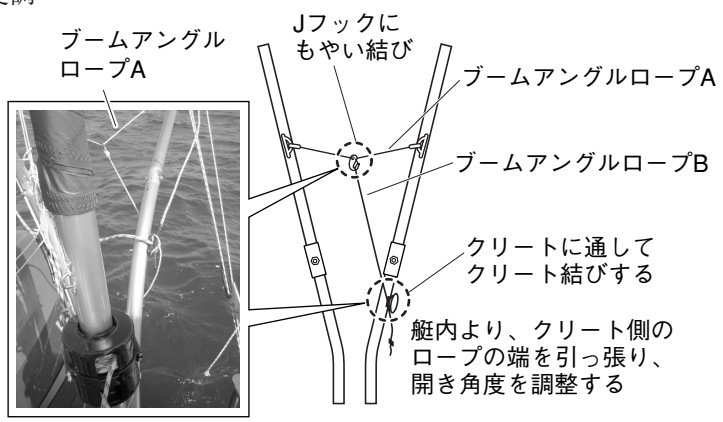


(9) ブームアングルロープB(1.5m)を、ブームの角度調整用として、右図の様に展開します。
(中スパンカー／折畳みブームの場合は1.8m)

要 点

- ブームリフト用の丸リンクとは反対側のクリートを使用してください。

(ブームを上から見た図)



展開方法

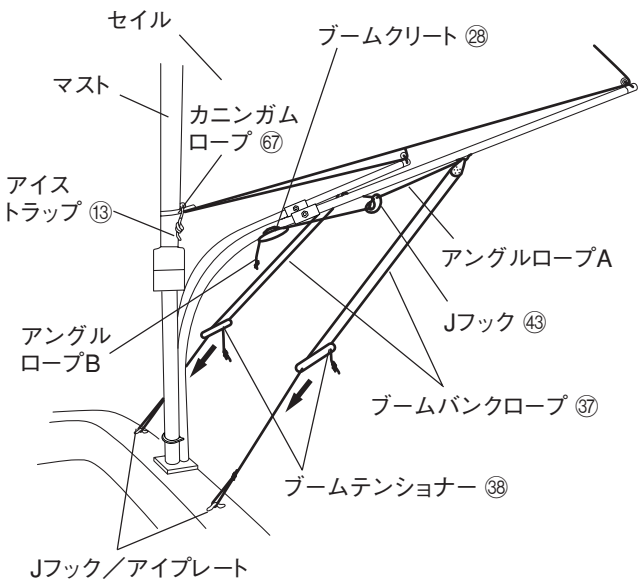
(10) 左右のブームバンクロープ ㊲ のブームテンショナー ㊳ を引き下げて、張ります。ブームテンショナーから手を離すと、自然に固定されます。

(11) カニンガムロープ ㊼ を下方向に引き、アイストラップ ⑬ に固定します。

(12) ブームテンショナー ㊳ を上げ、ブームバンクロープを少し緩めます。

(13) 上側のドラムロープ ⑲ を引き、セイルを展開するのと同時にアウトホールロープ ㉞ をバウ側へ片手で引きます。

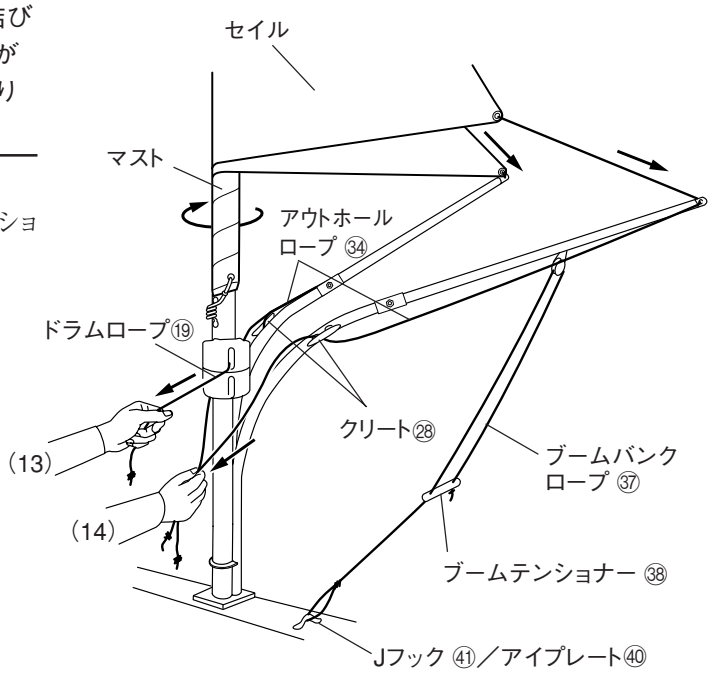
(14) セイルがブームエンドまで展開されたら、アウトホールロープ ㉞ をブームのクリート ㉘ にクリート結びで固定します。



注　意

- アウトホールロープのエンド(端)は、ブームのクリートから抜けないようにエイトノット結びにしておいてください。アウトホールロープが抜けると、船上からは修復取付が不可能となります。

(15) 最後に、展開前に少し緩めた左右のブームテンショナー ㊳ を強く張ってください。



セイルとブームの調整

【1】ブーム開き角度の調整方法

注　意

- 風が強い場合はブーム角度を狭く、風が弱い場合はブーム角度を広くして使用してください。

ブーム角度を狭くするとき

（1）左右のブームバンクロープ ㊲ のブームテンショナー ㊳ を緩めます。

（2）ブームアングルロープBの端を艇側よりひっぱり、クリートに固定します。

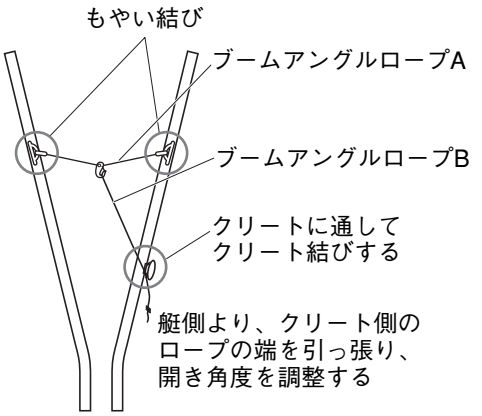
（3）再び左右のブームバンクロープ ㊲ のブームテンショナー ㊳ を張ります。

風が弱まり再びブーム角度を広くするとき

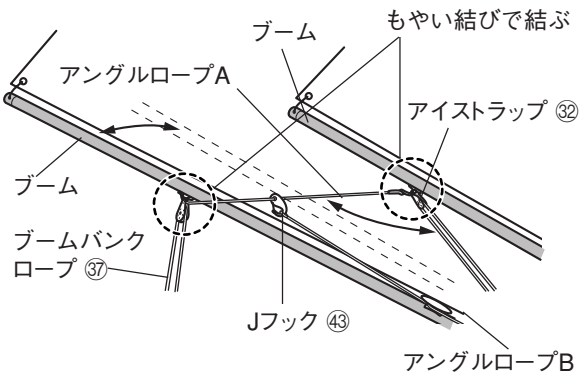
（1）左右のブームバンクロープ ㊲ のブームテンショナー ㊳ を緩めます。

（2）ブームアングルロープBの端を緩め、クリートに固定します。

（3）再び左右のブームバンクロープ ㊲ のブームテンショナー ㊳ を張ります。

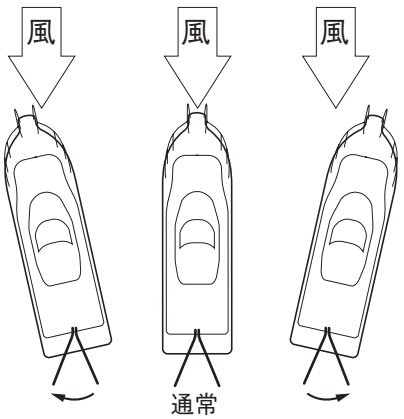


（ブーム上面図）



【2】ブームの向き調整

頻繁に船首が振られ、ステアリング操作が煩雑だと釣りの楽しさも半減します。スパンカーを左右に振ることにより、風に対する船首の向きを調整することができます。スパンカーのセールの角度やステアリングを少しずつ振ってみて、最もステアリング操作が楽な向きを探してください。潮や風、釣り方によって風上に真っ直ぐに向けた方が良い場合もあれば、風上から少し船首に角度をもたせた方が良い場合もあります。



スパンカーを左舷に向けたい場合（➡）

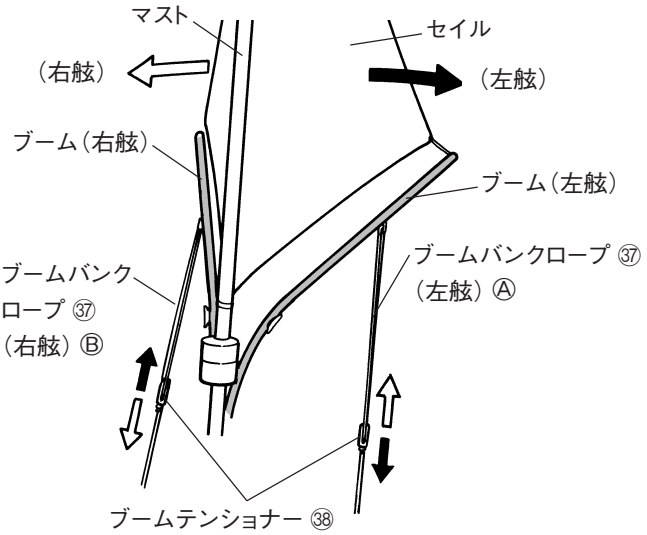
（1）右舷のブームバンクロープ ㊲（右図 Ⓑ）のブームテンショナー ㊳ を緩めます。

（2）左舷のブームバンクロープ ㊲（右図 Ⓐ）のブームテンショナー ㊳ を張ります。

スパンカーを右舷に向けたい場合（⇦）

（1）左舷のブームバンクロープ ㊲（右図 Ⓐ）のブームテンショナー ㊳ を緩めます。

（2）右舷のブームバンクロープ ㊲（右図 Ⓑ）のブームテンショナー ㊳ を張ります。



折り畳みタイプ

収納方法

【1】セイルとブームの収納

収納前に両サイドのブームテンショナー ㊳ を少し緩めてください。

(1) ブームのクリート ㉘ に固定してあるアウトホールロープ ㉞ を外します。

注 意

- 両サイドのブームテンショナー ㊳ を緩めすぎるとセイル収納時にブームリフトロープを巻き込む場合があります。その状態で無理に回すとスパンカーの破損の原因になります。

(2) 下側ドラムガイドロープをバウ側へ引きます。マストが回転し、セイルが収納されます。その時、ブームリフトロープをセイルに巻き込まないようにしてください。収納後、ドラムガイドロープをマストに固定してください。

(3) セイルエンドロープをマストに巻きつけて固定します。

(4) 両サイドのブームテンショナー ㊳ を緩めます。

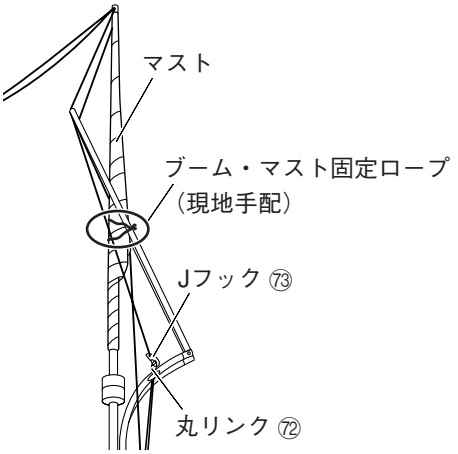
(5) アウトホールロープを緩めます。

(6) ブームリフトロープを引き、ブームを前方に折り曲げながら収納時の位置にします。(収納時、Jフック ㉝ を丸リンク ㉜ に取り付ける)

(7) 両サイドのブームテンショナー ㊳ を引き下げます。アウトホールロープを引き、セイルが展開しない位置でクリートに固定します。

注 意

- 収納時にブームが動かないように固定してください。
- 保管時は、ブームとマストをロープ等で固定してください。ブームとセイルが破損する可能性があります。



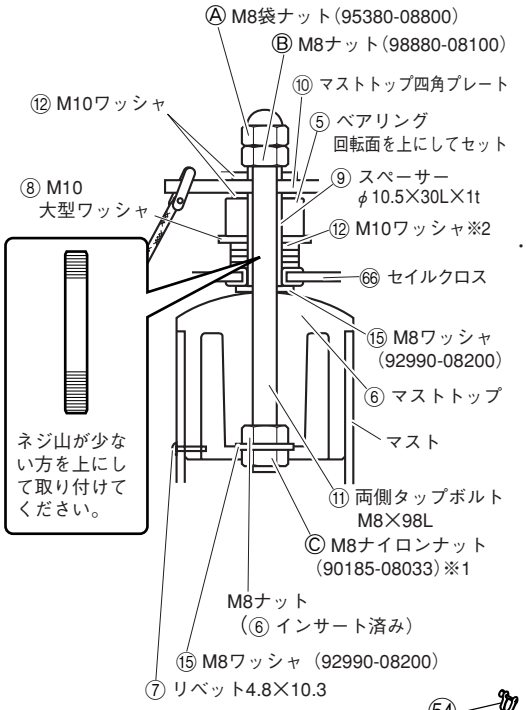
パーツリスト

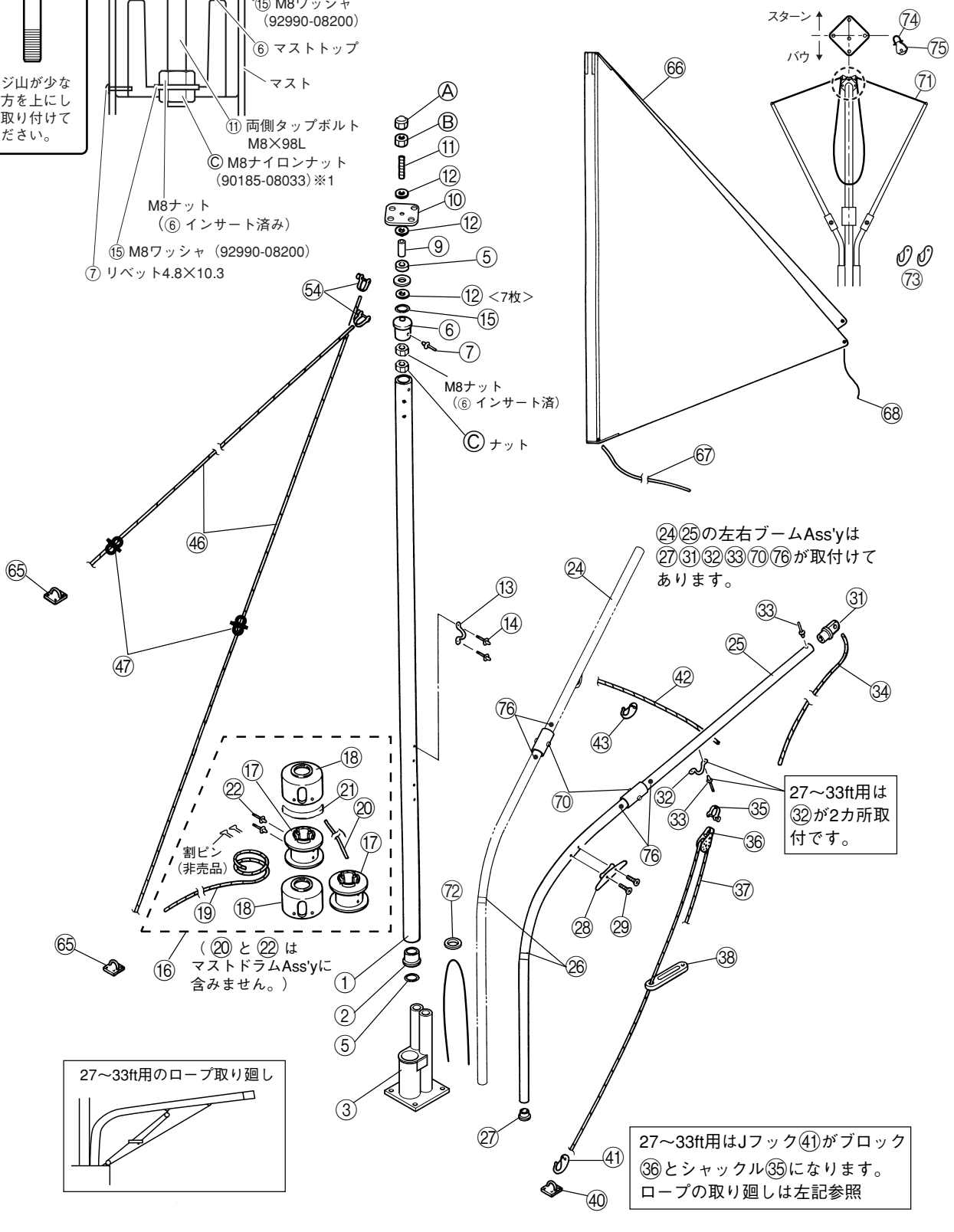
20～27ft用・小スパンカー（品番：QX4-SAS-G00-210）
27～33ft用・中スパンカー（品番：QX4-SAS-G00-110）

27～33ft用スパンカーは、ブームが長いため、ブームは2カ所のアイストラップ㉜を使用しています。Jフック㊶は代替して、ブロック㊱㉟2個に変更になります。

・マストトップ部には左記の図の順に取り付けてください。両側タップボルト及び※1のM8ナイロンナットによる締め付けにて※2のM10ワッシャの枚数が3枚になる事があります。
先端のM8の袋ナットを締める際、全体的に隙間の無いように注意してください。
M8ナイロンナット（※1）を締め上げ調整をしてください。
（但し四角プレート等が動き回転できる程度にて締め上げてください。）
先端に取り付けるM8の六角ナット・袋ナット、M8ナイロンナット（※1）にはネジロックにて取り付けてください。塗布されていませんと使用中に緩んで外れることがあります。

・マストボトムの取付
送付されているマストボトムを現在付いているものと取り替えてください。
取り付ける際はシリコンシーラント等で接着しはめ込んでください。





パーツリスト

ｶﾃｺﾞﾘｰ	No.	部品番号	部品名称	個数	備考
マスト	1	90790-80101	小マスト	1	φ55×2.5t×3700L
		90790-80161	中マスト	1	φ55×2.5t×4200L
	2	90790-80103	マストボトム	1	6ナイロン
	3	QX4-SAS-002-0MS	マストステップ	1	SUS304
		Q8T-SAS-002-002	・ブームナイロンテープ	2	ナイロン300テープ
	5	Q8T-SAS-001-005	マストベアリング(上・下キット)	1set	2×1、5×2、12×3入り
	*	Q8T-SAS-002-003	マストナイロンテープ	1	ナイロン500テープ
	13	90790-80165	アイストラップ	1	SUS6mm
	14	97780-50312	リベット	2	SUS4.8×10.3
マストトップ	6	90790-80102	マストトップ	1	6ナイロン
	7	90267-48938	マストトップリベット	1	SUS4.8×10.3
	8		マストトップワッシャ大	1	大型 M10
	9	90790-80124	マストトップスペーサー	1	φ10.5×1t×30L
	10	Q8T-SAS-002-031	マストトップ四角プレート	1	SUS304
	11	90790-80168	マストタップボルト	1	M8両側タップボルト
	12	92990-10200	マストトップワッシャ	6	M10
	15		ワッシャ	2	M8
マストドラム	16	90790-82161	マストドラムAss'y	1	ガイドロープはφ6×4.5mを使用
	17	･90790-80141	・マストドラム	2	6ナイロン
	18	･90790-80142	・マストドラムカバー	2	6ナイロン
	19	･Q8T-SAS-001-021	・小マストドラムガイドロープ	1	φ6×4m
		･Q8T-SAS-002-021	・中マストドラムガイドロープ	1	φ6×4.5m
	21	･90790-82091	・ドラムベルト	2	6ナイロン
		･非売品	・スクリューボルト(ドラムベルト用)	4	M4×60L
		･非売品	・ナイロンナット(ドラムベルト用)	4	M4
	20	90790-80139	マストドラムストッパーロープ	2	φ3×0.5m
	22	90267-48940	マストドラムリベット	4	φ4.8×11.9
ブーム	24	QX4-SAS-002-21L	折畳み小ブームAss'y 6063-T5 左	1	φ35×3.5t×2800L
		QX4-SAS-002-21R	折畳み小ブームAss'y 6063-T5 右	1	φ35×3.5t×2800L
	25	QX4-SAS-002-11L	折畳み中ブームAss'y 6063-T5 左	1	φ35×3.5t×3120L
		QX4-SAS-002-11R	折畳み中ブームAss'y 6063-T5 右	1	φ35×3.5t×3120L
	27	･Q8T-SAS-002-006	・ブームボトム	1	6ナイロン
	28	･90790-80172	・ナイロンクリート110	1	
		･Q8T-SAS-002-010	・ワッシャ	6	M4
	29	･Q8T-SAS-002-011	・スクリューボルト	2	M4×60L
		･Q8T-SAS-002-012	・袋ナット	2	M4
	31	･Q8T-SAS-002-007	・ブームエンド	1	6ナイロン
	32	･90790-80116	・アイストラップ	1	中用2個
	33	･90790-80170	・リベット	3	SUS4.8×10.3(中用5個)
	76	･Q8T-SAS-002-032	・リベット(ヒンジ用)	6	4.8×13.5
	70	･Q8T-SAS-002-030	・ブームヒンジAss'y	1	アルミ5056
		･･非売品	・・ブームヒンジ	2	
		･･非売品	・・ヒンジボルト	1	SMSB10-L-25
		･･非売品	・・オイレスベアリング	1	80F -1012
		･･非売品	・・オイレスベアリング	1	80F -1006
		･･非売品	・・ポリエチレンワッシャ	1	φ35×φ12.5×1.0t
		･･非売品	・・M8ナットUフランジ	1	ステンコート
		･･非売品	・・ワッシャ	2	M10-1.0t
	71	Q8T-SAS-002-033	小ブームリフトロープ	1	φ3×16m
		Q8T-SAS-002-034	中ブームリフトロープ	1	φ3×17m
	72	Q8T-SAS-002-035	丸リンク(リフトロープ用)	1	SUS 3mm一φ20
	73	Q8T-SAS-002-042	Jフック(リフトロープ用)	2	SUS 50mm
	74	Q8T-SAS-002-040	シャックル(リフト用)	2	SUS 5mm
	75	Q8T-SAS-002-037	ブロック25mm(リフト用)	2	
	26	90790-80169	ブームリング	2	6ナイロン
	34	Q8T-SAS-002-008	小アウトホールロープ	2	φ6×4.5m
		Q8T-SAS-002-009	中アウトホールロープ	2	φ6×5.5m
	35	Q8T-SAS-002-040	シャックル	2	SUS 5mm(中用4個)
	36	Q8T-SAS-002-041	ブロック35mm	2	(中用4個)
	37	Q8T-SAS-002-022	小ブームバンクロープ	2	φ6×3.5m
		Q8T-SAS-002-023	中ブームバンクロープ	2	φ6×5.0m
	38	90790-80137	ブームテンショナー	2	6ナイロン
	40	90790-80167	パットアイプレート	2	SUS 6mm
	41	Q8T-SAS-002-042	Jフック	2	SUS 50mm(中用は無し)
	42	90790-80138	ブームアングルロープ	2	φ4×1.5m
	43	Q8T-SAS-002-042	ブームアングルJフック(ブーム･センター取付用)	1	SUS 50mm

ｶﾃｺﾞﾘｰ	No.	部品番号	部品名称	個数	備考
マストステー	46	Q8T-SAS-002-024	小フォア、サイドステーロープ	3	φ4.5×5.5m
		Q8T-SAS-002-025	中フォア、サイドステーロープ	3	φ4.5×6.0m
	47	Q8T-SAS-002-000	8の字クリート　ステー用	3	66ナイロン　G30
	54	Q8T-SAS-002-040	ステーシャックル フォア、サイド	3	SUS 5mm
	65	90790-80167	ステーパットアイプレート フォア、サイド	3	
セール	66	90790-80120	小セイルクロス	1	
		90790-80162	中セイルクロス	1	
	67	Q8T-SAS-001-028	セイルカニンガムロープ	1	φ4×1.0m
	68		セイルエンドロープ	1	φ3×0.7m
		Q8T-SAS-002-043	取扱説明書	1	

定期点検

定期点検に関する必要事項を表示しています。実施しない場合は、スパンカー機能に支障がおき、スパンカーが破損する場合があります。

日常点検

項　　目	内　　容
ロープ	摩耗点検
ステー	緩み点検／調整
マスト／マストステップ	隙間点検／調整／潤滑防腐剤塗布

年次点検

項　　目	内　　容
ロープ／ステー	摩耗点検／交換
取付ボルト／マストトップナット	緩み点検／増し締め
マスト／マストステップ／ブーム	摩耗点検／破損点検／交換
セイル	破損点検／交換
マストベアリング	摩耗点検／交換

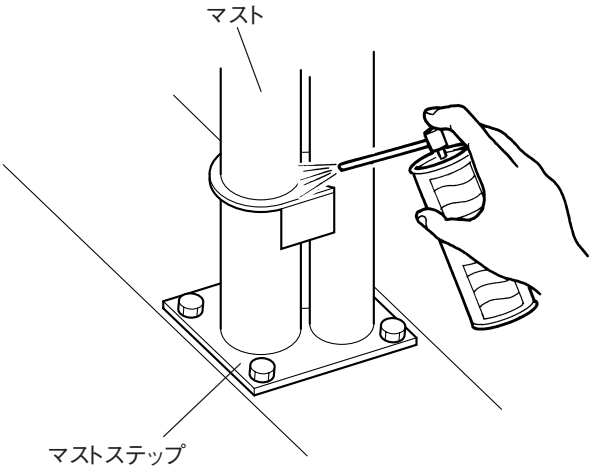
3年次点検

項　　目	内　　容
8の字クリート	交換
折り畳みブームヒンジ・ベアリング	交換（ブームヒンジAss'yにて）

【1】潤滑防錆剤塗布

月1回定期的に、マストの付け根（回転部）にヤマハ・マリンガード浸透潤滑防錆剤を塗布します。このお手入れを行わないと、回転部が塩で固着し、セイルの展開・収納が困難になります。

ヤマハ・マリンガード浸透潤滑防錆剤：90790-74019



【2】ロープの摩耗点検と交換

定期的に、ロープの摩耗を点検し、外皮がめくれてきたら交換します。スムーズなセイル展開・収納に支障をきたします。

⚠警告

- 切れ掛かったロープを使い続けると、突然の衝撃でロープが切れ、マストやブームが倒れてケガをするおそれがあります。

スパンカーによる船の流し方

はじめに

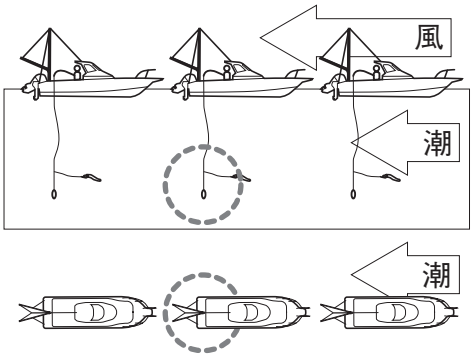
従来、「流し釣り」と言えば微速装置の付いたインボード（船内機）艇で行なうものというイメージがありました。これに対し船外機艇は流し釣りに向いていないと言われていました。

しかし船外機艇であってもYFシリーズに代表されるヤマハのウエイブ・スラスター・ブレード付きフィッシングボートなら、良好な風流れ抑止性能を発揮するため、ハイレベルな流し釣りを実現することができますので、船外機艇でも流し釣りを楽しんでください。

流し釣りとは

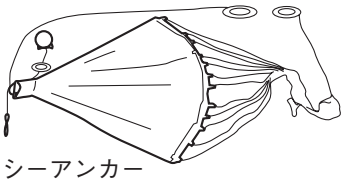
流し釣りとは、船が風で押されて流されるのを、ステアリング操作とボートの推力調節をする事によって相殺し、潮と同調させて船を流す釣り方です。

ボートが潮と同調して流れている場合、二枚潮などの場合を除き、海中の道糸は真っ直ぐ、垂直に垂れています。下図は、潮の流れと風向きが同一の場合のボートの動きをイメージしたものです。



流し釣りはステアリング操作と、ボートの推力調整だけで出来るものではありません。

スパンカーやシーアンカー、ボートの推力調整用の専用原動機（エレキモーターや船外機など）を装備する事によって船首を風上に立てる流し釣りが可能となります。


シーアンカー

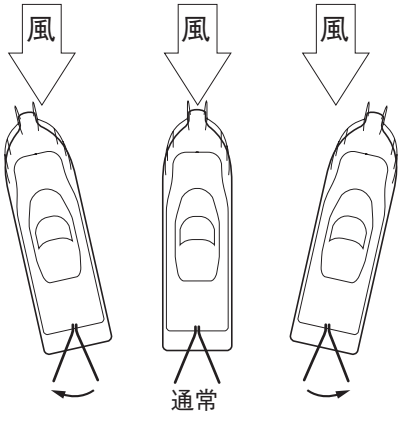
但しエレキ（電動モーター）を使用する場合のバッテリー容量の管理や、シーアンカーでのパラシュートの揚げ降ろしのような手間が必要となります。ここでは、一般的に遊漁船などで普及しているスパンカーを使っての流し釣りを紹介します。

流し釣り操船のコツ

釣りに集中するためには、ボートを流す時の操船の負担を極力少なくすることが重要です。

ここでは、スパンカーを使った流し釣りにおける、ちょっとした操船のコツをご紹介します。

1. スパンカーのセール（帆）はしっかりと張ります。
   張りがあまいと風立ちが悪くなります。
2. 頻繁に船首が振られ、ステアリング操作が煩雑だと釣りの楽しさも半減です。スパンカーのセールの角度やステアリングを少しずつ振ってみて、最もステアリング操作が楽な向きを探してください。
   潮や風、釣り方によって風上に真っ直ぐに向けた方が良い場合もあれば、風上から少し船首に角度をもたせた方が良い場合もあります。



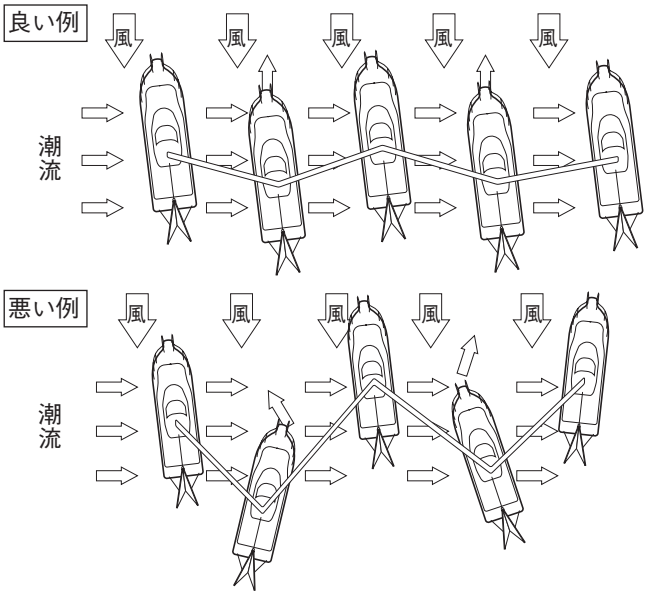
要　点

- スパンカーを左右に振ることにより、風に対する船首の向きを調整することができます。

3.ボートの向きが変わってから、シフトおよびスロットルを操作するのでは修正に時間がかかってしまいます。ボートの次の動きをイメージして早めに対処することがポイントです。
風見をつけておくと、船の振られ方が予測できます。

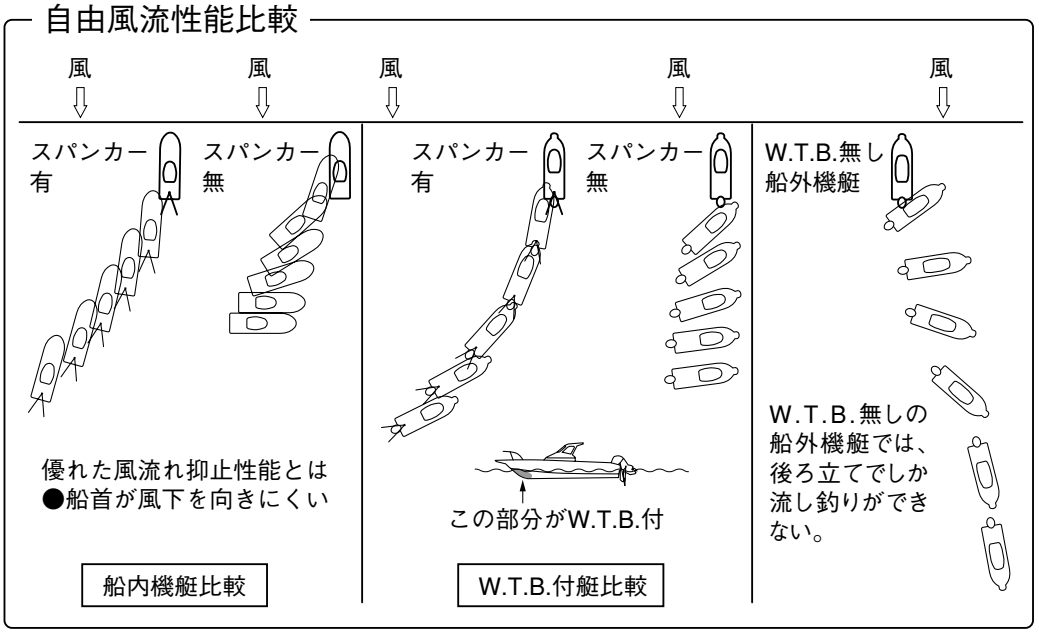
要　点

- 船が風で押される前にシフトを入れるイメージ。船に行き足がつくまえにシフトを抜くイメージ。



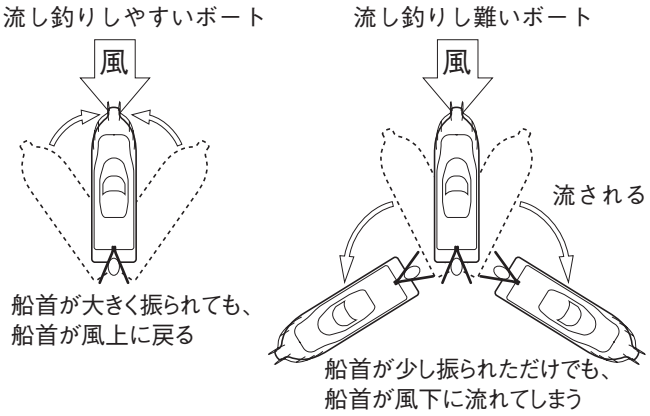
スパンカーを使った流し釣り

スパンカーを装備していても、ボートは風で押されて流されます。ステアリング操作とボートの推力調整をしなければ、ボートは風に流されてしまい、船首を風上に立てることはできません。（下図参照）



同じタイプ（大きさ）のスパンカーを装着していても、流し釣りのしやすさはボートによって異なります。船首が大きく振られても船首が風上に戻るボートであれば船首向きのコントロールがし易いため、流し釣りがし易い船と言えます。

逆に、波や風で船首が少し振られただけで、船首が風下に流れてしまうボートでは、船首向きのコントロール（修正）で手一杯となり釣りどころでは無くなってしまいます。したがって、流し釣りを楽しむためには、ボートの選択が非常に重要となります。従来タイプの船外機艇は、船首を風上に戻すことのできる振れ角の範囲が非常に狭く、流し釣りに向いているとは言えませんでしたが、ヤマハの新世代フィッシングボートF.A.S.T.26や、YFシリーズでは、独自のウエイブ・スラスター・ブレード（W・T・B）が優れた風流れ抑止性能を発揮するため、良好な風立ち性を実現し、流し釣りに対応可能な性能を持ちあわせています。



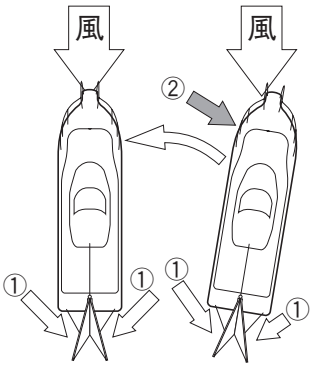
要　点

- スパンカーを装備しても適切な操船をしなければ流し釣りはできません。
  重要な操船のポイントは以下の2点となります。
  1.シフト及びスロットル操作で、船が風で押されて流されないようにする。
  2.スパンカー向き及びステアリング操作で、船首を風上へコントロールし、保持します。

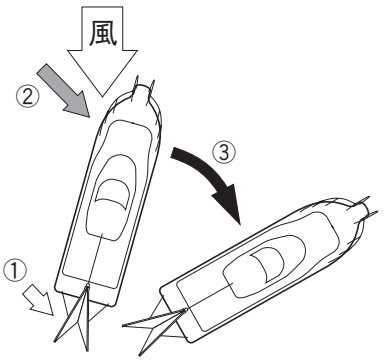
スパンカーを張り船首を風上に向けると、風によってスパンカーには図の矢印（①⇨）の向きに揚力が発生します。

この力は、船首が風上に近い方向にある場合には、船首を風上に向ける方向に働きますが、船首が風上から振れると、風がハルやブリッジの片面に当り、船首を風下に向けようとする力（②⇨）が発生します。

風向きと船首の振れ角度が小さければ、船首は風上に戻りますが、振れ角度が大きくなるとスパンカーの揚力が小さくなり、船首を風下に向けようとする力が大きくなるため、船首を風上にコントロールし、保持することができなくなります。したがって、風向きが変わったり船首が波などで振られた場合には、早い段階で船首向きの補正が必要となります。



船首の振れ角度が小さければ
船首は風上に戻る



船首の振れ角度が大きくなると
船首は風下に流れてしまう

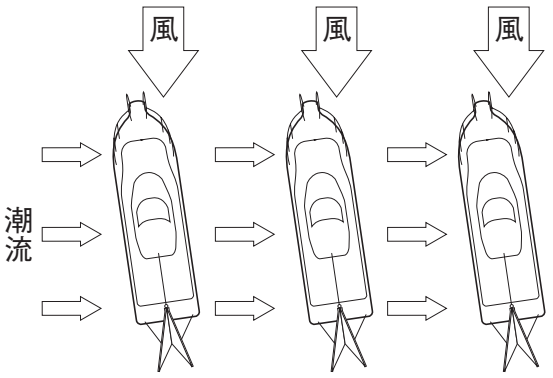
要　点

- 「風立ち性が悪いボートでも大きなスパンカーを立てればいいんじゃないの？」
  確かに大きなスパンカーを装着すれば風立ち性は向上しますが、あまりに大きなスパンカーを装着すると、取り扱いしにくいばかりか、強風時には操船不能に陥ったり、最悪の場合、横風を受けて転覆する恐れもありますので、船の長さに応じたスパンカーサイズのものを装着するようにしましょう。
  安全はもちろんですが、取り扱いの面からもボートが風に立つ範囲でスパンカーは小さいにこしたことはありません。
  その点からも、風立ち性に優れた基本性能を持つボートを、選択することが重要と言えます。

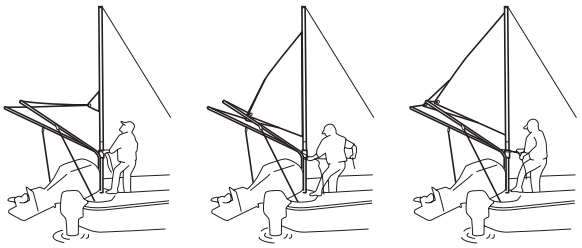
さあ流し釣りに行きましょう

船もスパンカーも揃ったら、流し釣りに行きましょう。

1.まず、ポイントに到着したら、潮流や風向を確認し、どこのポジションからどの方向に流すかをシミュレーションしてください。

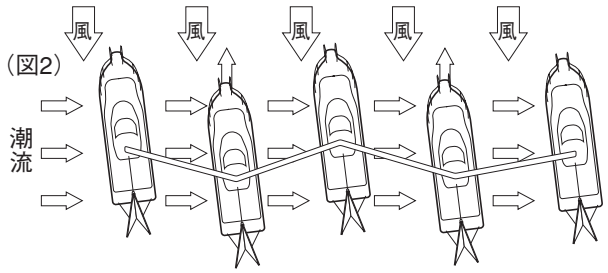


2.スパンカーのセールを張りましょう。
その前に補機操船の場合は補機を下ろし、主機をチルトアップしてください。
セールの張り方によって、風立ち性が変わりますので、セールをしっかり張るようにしてください。

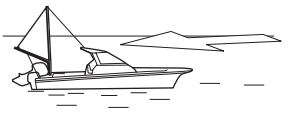


3.ポイントの潮上にボートを操船し船首を風上に向けます。

4.ボートが風で押されて流されるのをステアリング操作とボートの推力調整によって相殺し、潮と同調させてボートを流します。
風の強さは一定ではないので、推力の調整のためには、こまめにシフトとスロットルの操作が必要です。(図2参照)



5.また、風向が変わった場合や波で船首が振られた場合は、船首が大きく流される前に素早く修正することが必要です。
流し釣りを楽しむにあたっては、当日のコンディションや周囲の船の状況にも十分な注意が必要です。風や潮流の強さや向きによっては、同じ場所であっても非常に難しい場合もありますので、経験と技術を磨き、流し釣りをエンジョイしてください。



6.スパンカーをたたみ、帰港しましょう。
補機操船の場合は主機を下げ、補機をチルトアップしてください。

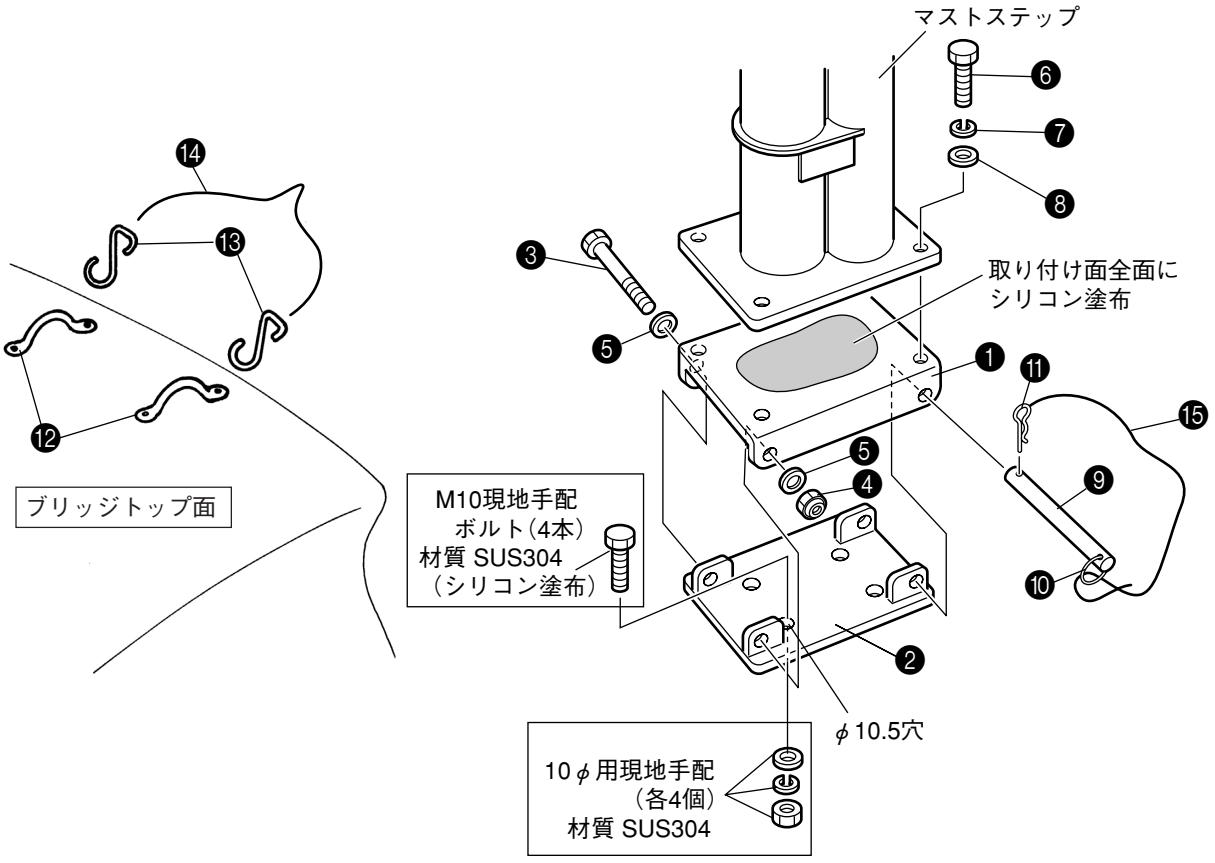
要　点

- 艇やスパンカーやその他の装備品により風流れ性能が異なります。風流れが悪い(船首が振られ易い)場合、頻繁なステアリング操作が必要となるため、艇はもちろんスパンカーの大きさ等、艤装品は慎重な選択が必要です。

オプション

【1】可倒式ヒンジベースAss'y　品番:90790-80153

入出航時に、低い橋を通過しなければならない時の、マストを可倒するためのオプション品です。



注　意

- 可倒式ヒンジベースを取り付ける場合、6角ボルト③にシリコンシーラントを塗布してから締め付けてください。シリコンシーラントを塗布しないと電蝕する可能性があります。

No.	部品番号	部品名称	個数	備考
1	90790-82154	ヒンジベースアップ	1	AC7A
2	90790-82155	ヒンジベースロワー	1	AC7A
3	90790-82156	6角ボルト	1	M8×140
4	90185-08004	ナイロンナット	1	M8
5	92990-08200	ワッシャ	2	M8
6	90790-80168	6角ボルト	4	M8×15
7	92990-08100	スプリングワッシャ	4	M8
8	92990-08200	ワッシャ	4	M8
9	90790-82157	ピン	1	φ8×140
10	A39-66559-00	2重リング	1	
11	90790-82158	Rピン	1	
12	A00-61543-90	アイストラップ6mm	2	SUS304
13	90890-87290	S環	2	φ3
14	90790-80139	マスト固定ロープ	1	φ3×25cm
15	90790-80139	2重リング，Rピン止めロープ	1	φ3×25cm

※下記の黒丸数字(❶ ～ ⓯)は、可倒式ヒンジベースAss'y(38ページ)の番号です。

【2】可倒式マストステップ(オプション)の取り付け

(1) ボートの中心線とヒンジベースロワー ❷ の中心線を合わせ、取付穴をケガキます。

(2) φ10.5mmのドリルを使用し、フロアーまたはブルワークトップに4つの取付穴をあけます。

(3) SUS製M10ボルト4本を艇体の取付面の厚さに合わせて現地にて用意します。ボルトにシリコンを塗布し、裏からワッシャ・スプリング・ワッシャ・ナット(ワッシャ、スプリングワッシャ、ナットは現地で用意)でヒンジベースロワー ❷ を固定します。

(4) ヒンジベースアップ ❶ に付属のM8ボルト ❻ にシリコンを塗布し、スプリングワッシャ❼、ワッシャ❽を入れ、マストステップを取り付けます。

(5) M8の長いボルト ❸ でヒンジベースアップとロワーをワッシャ ❺ 4枚とナイロンナット ❹ を使って固定します。

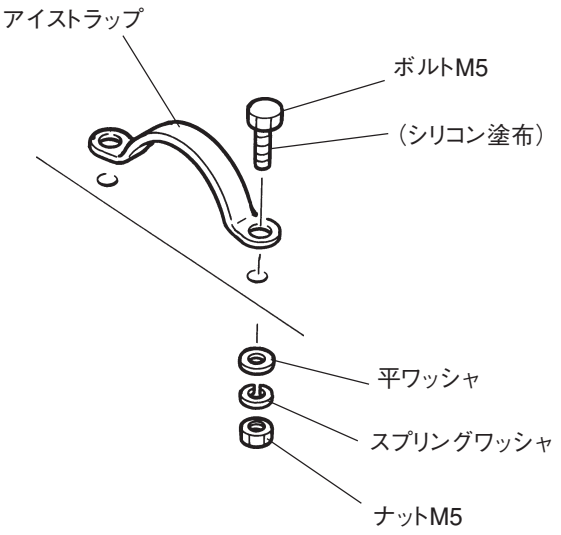
(6) ヒンジベースロワー ❷ のスターン側にピン ❾ を差し込み、Rピン ⓫ でロックします。

(7) Rピンと2重リング ⓾ をロープ⓯で結びます。

【3】アイストラップの取り付け

(1) 可倒時にマストを固定する付属のアイストラップ ⓬ 2個をブリッジトップの後部に取り付けます。

(2) ボルトにシリコンを塗布し、ボルトを船体に貫通させ、裏から平ワッシャ・スプリングワッシャ・ナットで固定します。

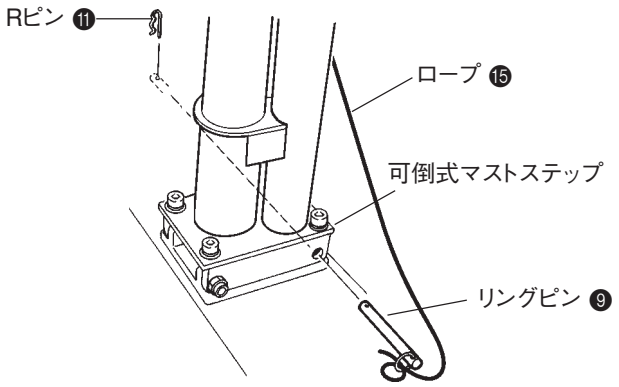


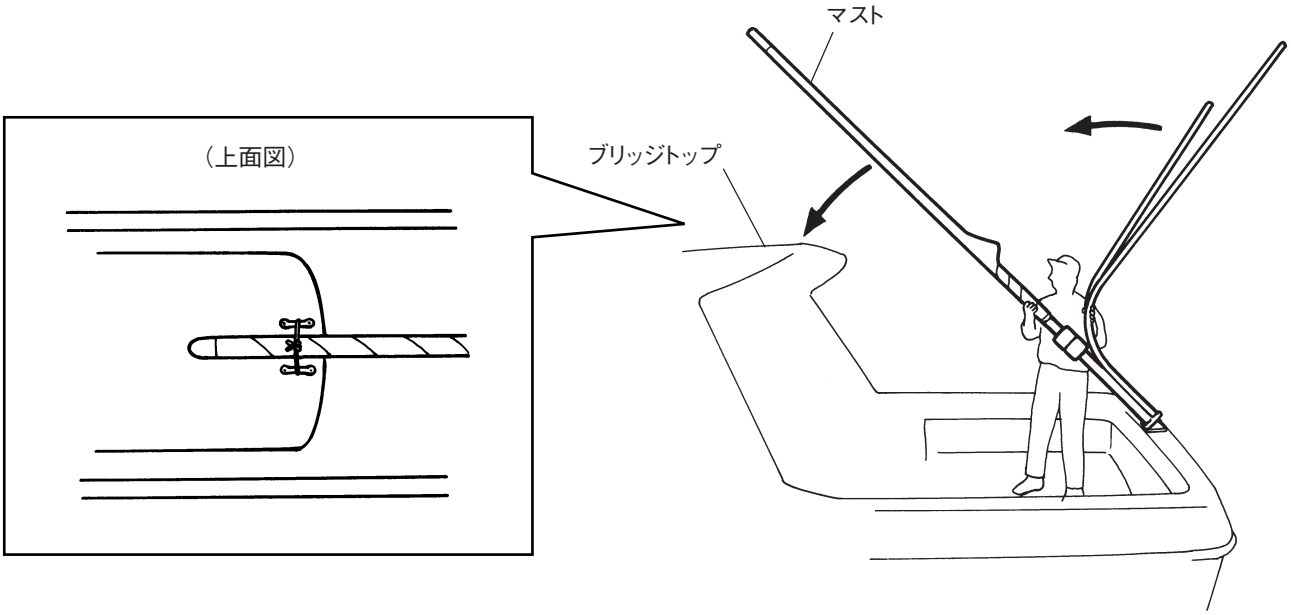
【4】可倒式ヒンジベース装着船のマストとブームの収納

（1）セイルを収納した後、左右のブームテンショナー ㊳ を締め、サイドステーを外し、ブームバンクロープを取り外します。

（2）可倒式ヒンジベース後部のRピン ⓫ を外し、ピン ❾ を抜きます。

（3）ブームを片側にまとめ船の内側に倒し、マストを倒します。ブリッジトップの所に下記の様にアイストラップ2個の間にマストを、マスト固定ロープ ⓮ で固定します。





【5】可倒式ヒンジベース装着船のマストの引き起こし

（1）ブリッジトップ上にマストを固定しているマスト固定ロープ ⓮ を取り外します。

（2）マストを起こします。

（3）可倒式ヒンジベース後部の穴にピン ❾ を差し込み、Rピン ⓫ で確実にロックします。

（4）両サイドのステーロープ及びフォアステーロープを再度装着します。

（5）ブームバンクロープ ㊲ をアイストラップ ㊵ に取り付けます。

（6）左右のブームテンショナー ㊳ と両サイドのステー及びフォアステーロープ ㊻ を調整し固定します。
（8ページの【4】参照）

【6】シーアンカー （1.0×1.2m） 品番：Q8T-SAS-001-009
（1.2×2.0m） 品番：Q8T-SAS-001-010

船外機&ドライブ船等の艇は風立ち性支援のため、取扱いが簡易な低価格シーアンカーを用意しました。

MEMO

MEMO

不　許　複　製

名　　称：スパンカー
20〜27ft用・小スパンカー
27〜33ft用・中スパンカー
取付・取扱説明書
部　品　No.：Q8T-SAS-002-043
発　　行：株式会社 ワイズギア
2011年 7月

保　証　書

保証期間 1 年間

（お買い上げ日から）

持込修理

機　種	ワイズギア スパンカー	お買い上げ日	年　　月　　日
お客様	（お名前）　　様 ご住所　〒 TEL	販売店	店名 住所　〒 TEL

発売元

SPECIAL GEAR & ACCESSORIES Y'S GEAR

株式会社ワイズギア
〒 432-8058　静岡県浜松市南区新橋町1103
商品に関するお問い合わせ
「0570-050814」
オープン時間　月曜日～金曜日（祝日、弊社所定の休日は除く）
9：00～12：00　13：00～17：30

〔保証規定〕

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、下記記載内容で無料修理をお約束するものです。保証期間経過後の修理などについて、ご不明の場合は、販売店にお問い合わせください
保証期間内に取扱説明書の注意書にしたがった正常な使用状態で故障した場合には、本記載内容にもとづき無料修理いたします。お買い上げ日から保証期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただきお買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

1. 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
   ①使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   ②お買い上げ後の落下、輸送などによる故障または損傷。
   ③火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害などによる故障または損傷。
   ④本書のご提示がない場合。
   ⑤本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
   ⑥消耗品は有料修理となります。（樹脂部品・ロープ・セイル・リベット・ブロックベアリング等）
2. この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
3. この商品は持込修理に限らせていただきます。出張修理はいたしません。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

2011-07.0000